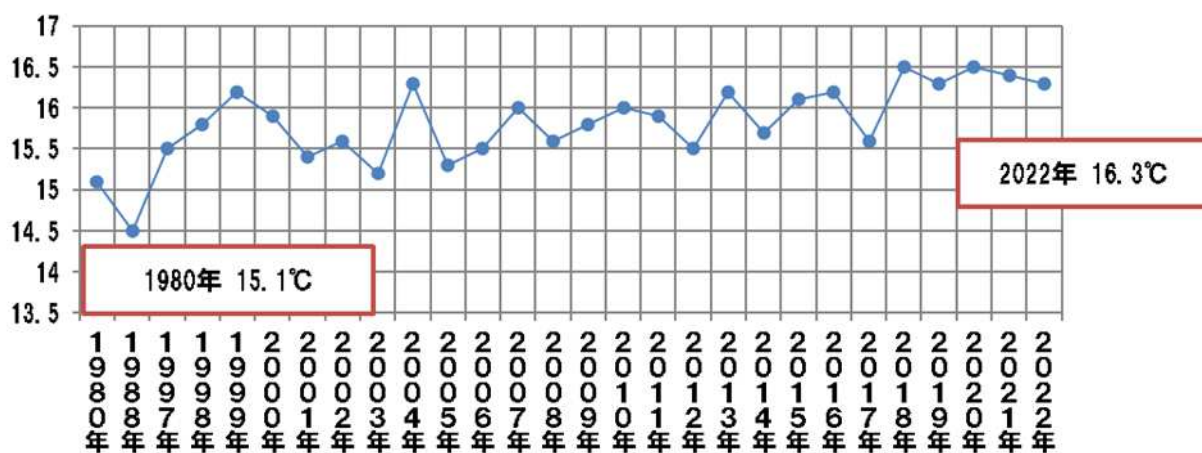


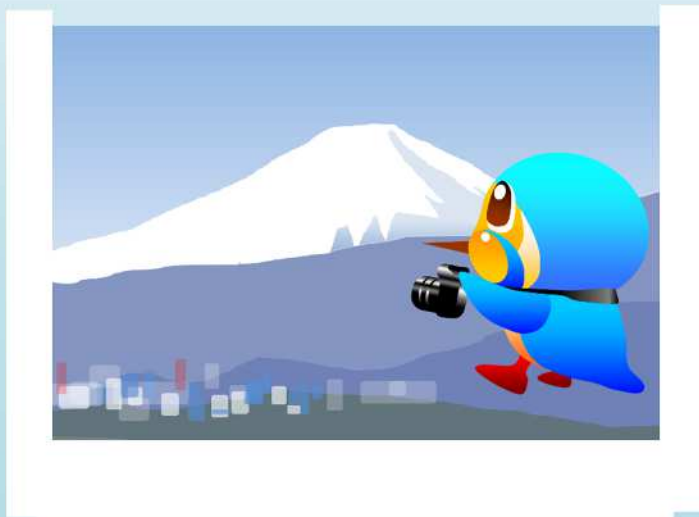
綾瀬市環境報告書

2022(令和4)年度取組結果

綾瀬市の平均気温



綾瀬市の平均気温の変化:1980(昭和55)年から平均気温が1.2 上昇
要因として、ヒートアイランド現象や地球温暖化が考えられます。



目 次

1	はじめに	1
	第2次綾瀬市環境基本計画	2
2	2022(令和4)年度 of 取組評価(まとめ)	3
3	各計画の報告	
(1)	第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標結果	6
(2)	第4期綾瀬市環境行動計画 取組結果	9
(3)	綾瀬市地球温暖化対策推進計画(区域編)取組結果	12
(4)	第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)取組結果	22
(5)	あやせ環境教育推進基本計画 取組結果	27
	【 資料編 】	
(1)	第2次綾瀬市環境基本計画 環境指標	29
(2)	第4期綾瀬市環境行動計画	33
(3)	第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)	43
(4)	あやせ環境教育推進基本計画(アクションプラン)	48
(5)	市民環境団体の活動報告	56
(6)	エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告	62

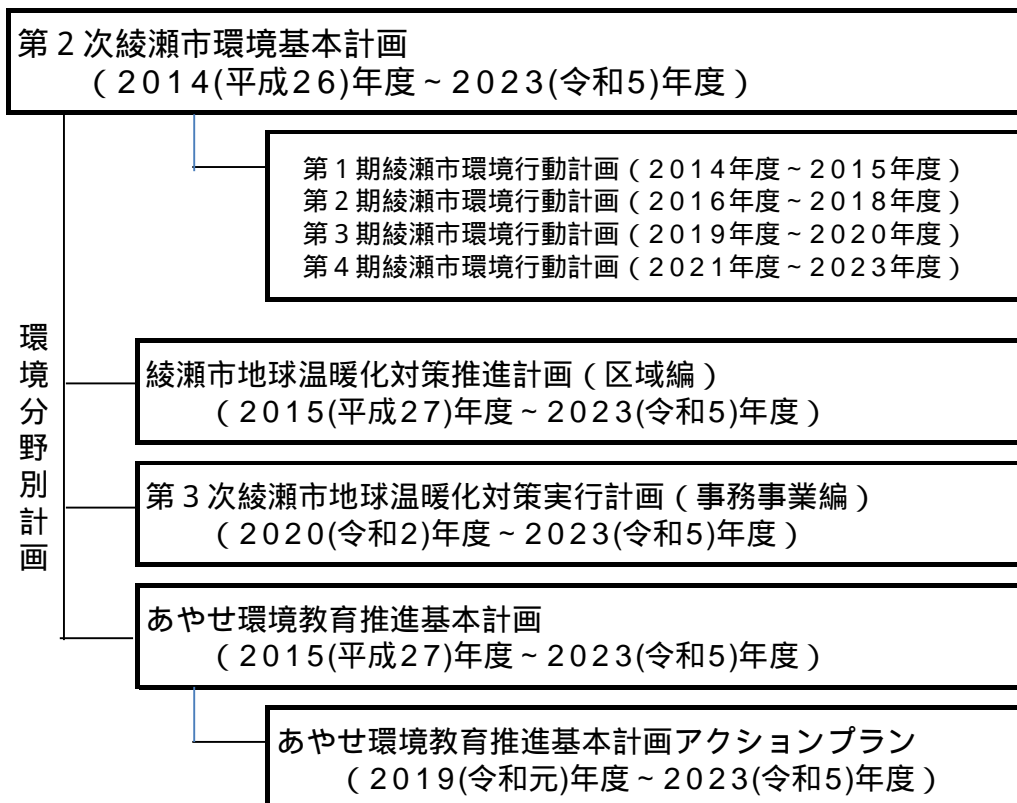
1 はじめに

本報告書は、綾瀬市環境基本条例第12条の規定により、「第2次綾瀬市環境基本計画（以下「基本計画」という。）」に基づき、2022(令和4)年度に実施した施策の状況等を公表するものです。

基本計画は、環境分野のマスタープランであり、6つの環境の将来像、20の基本目標の実現に向けて、市民・市民団体、事業者、市の取組内容等を示し、計画の進み具合を確認するため、環境目標や政策目標等の指標とその達成状況を示しています。加えて、環境保全などの取組内容については、「綾瀬市環境行動計画（以下「行動計画」という。）」として設定し、概ね3年毎に見直しを図っています。

また、環境分野別計画を策定し、各種環境施策を推進しています。

- ・綾瀬市地球温暖化対策推進計画（区域編）（以下「区域編」という。）：本市域から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）（以下「事務事業編」という。）：1事業所として綾瀬市役所（本庁舎及び出先機関）から排出される二酸化炭素を削減するための計画
- ・あやせ環境教育推進基本計画（以下「教育計画」という。）：環境教育・環境学習を進めるための計画



【 第 2 次 綾 瀬 市 環 境 基 本 計 画 】

基本
テーマ

あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを實踐し、安全なまちづくりを進める

あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして

環境の将来像

基本目標

環境の将来像
豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち
(自然共生社会の構築)

- 1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます
- 2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします
- 3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくりま
- 4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

環境の将来像
生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち
(生活環境の保全・改善)

- 1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします
- 2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります
- 3 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします

環境の将来像
歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち
(文化・都市環境の形成)

- 1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます
- 2 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくりま
- 3 人と環境にやさしい交通体系を整備しま
- 4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めま
- 5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

環境の将来像
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち
(循環型社会の構築)

- 1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理しま
- 2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めま

環境の将来像
地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち
(低炭素社会の構築)

- 1 電気・ガスなどの省エネルギー化やエネルギーの有効利用を進めま
- 2 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めま

環境の将来像
環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち
(協働社会の構築)

- 1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めま
- 2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組ま
- 3 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めま
- 4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めま

2 2022(令和4)年度の取組評価(まとめ)

2022(令和4)年度の各計画の取組評価は、次のとおりとなりました。

【各計画の目標達成状況】

(1) 基本計画の2022(令和4)年度環境指標として掲げられた44指標のうち、25指標を目標どおり実施しました。18指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

【本文：P6～8、資料編P29～32】

(2) 行動計画として設定した49項目のうち、36項目を目標どおり、4項目をほぼ目標どおり実施し、6項目が一部未実施又は一部未達成、3項目が未実施又は未達成となりました。

【本文：P9～11、資料編：P33～42】

(3) 区域編における、綾瀬市内からの二酸化炭素排出量(2020(令和2)年度)は、708千t-CO₂となり、目標排出量883千t-CO₂以下を達成しました。

【本文：P12～21】

(4) 事務事業編における、市役所業務からの二酸化炭素排出量は、6,700t-CO₂となり、目標排出量7,252t-CO₂以下を達成しました。

【本文：P22～26、資料編：P43～47】

(5) 教育計画の行動計画「あやせ環境教育推進基本計画アクションプラン(以下「アクションプラン」という。)」に設定した49項目のうち、44項目を目標どおり、3項目が一部未実施又は一部未達成、2項目が未実施又は未達成となりました。また、市立小・中学校での36項目の行動についても実施できました。

【本文：P27～28、資料編：P48～55】

【 各計画の推進方針 】

- (1) 環境指標については、達成率の低かった環境の将来像（循環型社会の構築）の達成率向上を目指し、取り組めます。
- (2) 行動計画については、一部未実施又は一部未達成となった6項目や、未実施又は未達成となった3項目について、達成できるよう取り組めます。
- (3) 区域編については、目標を達成しました。引き続き「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21」などの事業に取り組めます。
- (4) 事務事業編については、目標を達成しました。引き続き、省エネルギー行動に取り組むとともに、太陽光発電などの再生可能エネルギーの活用やZEB化などハードの整備による省エネルギー化に取り組めます。
- (5) アクションプランについては、未達成となった地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加について、実施内容・実施対象及び周知方法を見直し、取り組めます。

綾瀬市環境報告書 2022(令和4)年度取組結果 未実施又は未達成事項一覧

各計画の未実施又は未達成事項は、5項目となりました。

No.	目 標	結 果	今後の取り組み	ページ
第4期綾瀬市環境行動計画 (2021(令和3)年度～2023(令和5)年度)				
1	I 自然共生社会の構築 ④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます 12-4 農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催：年1回以上(30,000人以上)(3事業者以上)	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大の状況を考慮し、実施可能な手法を模索します。	34
2	V 低炭素社会の構築 ① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます 36-2 市役所の電気使用量の削減 (2013(平成25)年度比)：2%削減	2013：1,427,493kWh 2022：1,464,035kWh (約2.6%増) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気をしたことによる空調効率の低下など	引き続き不必要な照明の消灯など節電を実施します。	38
3	V 低炭素社会の構築 ② 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める 50-3 事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援：助成1件以上	2022：申請0件	引き続き、制度のPRを実施します。	40
あやせ環境教育推進基本計画 (アクションプラン) (2015(平成27)年度～2023(令和5)年度)				
4	2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	未実施	実施内容・実施対象及び周知方法について検討します。	48
5	22 事業所対象の講座等の実施	未実施	—	50

3 各計画の報告

第2次綾瀬市環境基本計画

(2014(平成26)年度～2023(令和5)年度)

2022(令和4)年度環境指標結果

1 環境指標の概要

本指標は、第2次綾瀬市環境基本計画の基本目標ごとに定められており、2023(令和5)年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 2022(令和4)年度環境指標の把握方法

市が実施した市民満足度調査や、各課に照会を行った内容をもとに把握しました。

3 2022(令和4)年度の環境指標結果

環境の将来像Ⅰ～Ⅵに掲げられた44指標のうち、25指標を目標どおり実施しました。18指標は事業に着手しているものの目標値に届かず、1指標は達成できませんでした。

各将来像の達成状況は次のとおりとなりました(資料編参照P29～)。○：目標達成、△：着手したが目標値に届かなかった、×：未達成

◆環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)

10指標：○4指標、△5指標、×1指標

○1-1「あやせ生物多様性行動指針の策定と推進」については、2017(平成29)年10月に開催した環境施策調整会議で、策定しないことを決定しましたが、生物多様性に関する啓発等を実施することで、生物の多様性を育むための取り組みを進めます。

- ◆**環境の将来像Ⅱ** 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善） 9 指標：○ 9 指標
- すべて指標について、目標を達成することができました。引き続き生活環境の保全・改善に向けた取り組みを進め、目標達成を目指します。
- ◆**環境の将来像Ⅲ** 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成） 11 指標：○ 5 指標、△ 6 指標
- 22-3「市民一人当たりの公園面積」、25-6「路線バス利用者数」など 6 つの指標について、目標を達成できませんでした。
- 特に景観、交通、不法投棄に関する指標を達成できなかったことから、これらを重点的に推進し、文化・都市環境の形成に向けて引き続き取り組む必要があります。
- なお、28-9「まち美化マナー宣言登録者数」は、2016(平成28)年5月に新規登録の受付を終了しました。
- ◆**環境の将来像Ⅳ** ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築） 5 指標：○ 1 指標、△ 4 指標
- 32-2「事業系ごみの減量化（排出量）」、33-3「焼却処理されるごみ量」、34-4「市民1人1日あたりの家庭可燃ごみ量」及び35-5「リサイクル率」について目標値を達成できませんでした。循環型社会の構築を目指し、普及啓発等を行う必要があります。
- ◆**環境の将来像Ⅴ** 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築） 2 指標：○ 2 指標
- 36-1「地球にやさしい生活を実践している市民の割合」及び37-2「補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力」の2指標について目標を達成しました。引き続き脱炭素社会の実現に向けて、省エネ・創エネを推進します。

◆環境の将来像Ⅵ 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築） 7指標：○4指標、△3指標

- 41-4「あやせエコっと21家庭編（応募家庭数）」及び42-5「あやせエコっと21事業所編（登録事業所）」について、目標を達成できませんでした。引き続き、市民や事業者などとの協働を推進する必要があります。

4 今後の取組

「環境の将来像Ⅱ（生活環境の保全・改善）」、「環境の将来像Ⅴ（低炭素社会の構築）」については、目標を達成することができましたが、そのほかの将来像については目標を達成できていない指標があります。

その中でも「環境の将来像Ⅰ（自然共生社会の構築）」について、目標に達しない指標が多く評価が低いことから、県や地権者と交渉を重ね、緑地の保全・確保等を引き続き推進していく必要があります。

また、「環境将来像Ⅳ（循環型社会の構築）」については、取り組みを実施しているものの指標の半数以上が目標を達成できていません。

更に普及啓発等を行い、循環型社会を目指していきます。

第4期綾瀬市環境行動計画 2022(令和4)年度～2023(令和5)年度
あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～

2022(令和4)年度 取組結果

1 2022(令和4)年度 環境行動計画の概要

本計画は、第2次綾瀬市環境基本計画の第4期行動計画として、基本目標ごとに定められており、2023(令和5)年度の目標達成に向けて進行管理を行うものです。

2 2022(令和4)年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、行動計画として定めた項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム(あやせEMS)」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 2022(令和4)年度の取組結果

環境の将来像 ～ に掲げられた行政が行う49項目のうち、36項目を目標どおり、4項目をほぼ目標どおり実施し、6項目が一部未実施又は一部未達成、3項目が未実施又は未達成となりました。

各将来像の達成状況は、次のとおりとなりました。(資料編参照P33～)

：目標どおり、　：ほぼ目標どおり、

：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)14項目：　10項目、○1項目、　2項目、×1項目

12-4「農地を通じた緑とふれあいの場としての収穫祭の開催」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止としています。

また、一部未達成となった3-3「特定外来生物駆除の推進」について、特定外来生物(アライグマ)は、生活被害や農業被害をもたらすため、引き続き駆除対策を行う必要があります。

環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち（生活環境の保全・改善）：行動内容を設定しないため、評価なし。

大気や水質、騒音の監視状況について、担当課で進行管理を実施しています。

環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち（文化・都市環境の形成）6項目： 6項目

すべての項目について、目標を達成しました。

環境の将来像 ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち（循環型社会の構築）8項目： 4項目、 3項目、 1項目

概ね目標を達成しましたが、34-4「木製家具等のRPF化」については、人員が確保できず、目標に達しませんでした。資源の再使用・再生利用を推進していくには、人員配置等を見直し、引き続き取り組む必要があります。

環境の将来像 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち（低炭素社会の構築）19項目： 15項目、 2項目、 ×2項目

未実施又は未達成となった36-2「市役所の電気使用量の削減」については、電気使用量が増加した要因として、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気を行いつつ空調を使用したことによる空調効率の低下などが挙げられます。50-3「事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援」については、申請がなかったため、引き続き制度の周知などを行っていく必要があります。

環境の将来像 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんな協働するまち（協働社会の構築）2項目： 1項目、 1項目

56-1「あやせエコっと21（事業所編）への参加促進」については目標を達成できませんでした。引き続き制度の周知などを行っていく必要があります。

4 今後の取り組み

「環境の将来像（自然共生社会の構築）」については、特に特定外来生物の情報収集や駆除対策を充実させる必要があります。

「環境の将来像（生活環境の保全・改善）」については、大気や水質等の継続的な現状調査や、騒音等の原因者への指導を実施していきます。

「環境の将来像（文化・都市環境の形成）」については、引き続き歴史・文化資源を保全し、また緑化や公共交通などを推進していきます。

「環境の将来像（循環型社会の構築）」については、循環型社会の構築に向けて、啓発活動等を引き続き取り組む必要があります。

「環境の将来像（低炭素社会の構築）」については、二酸化炭素の排出抑制に向け補助制度の周知を図るほか、公共施設の改修等を推進する必要があります。

「環境の将来像（協働社会の構築）」については、引き続き市民や事業者等との協働を進めていきます。



綾瀨市地球温暖化対策推進計画

(区域編)

2015(平成27)年度～2023(令和5)年度

地球温暖化防止のために、

みんなで省エネや創エネを進めるまち

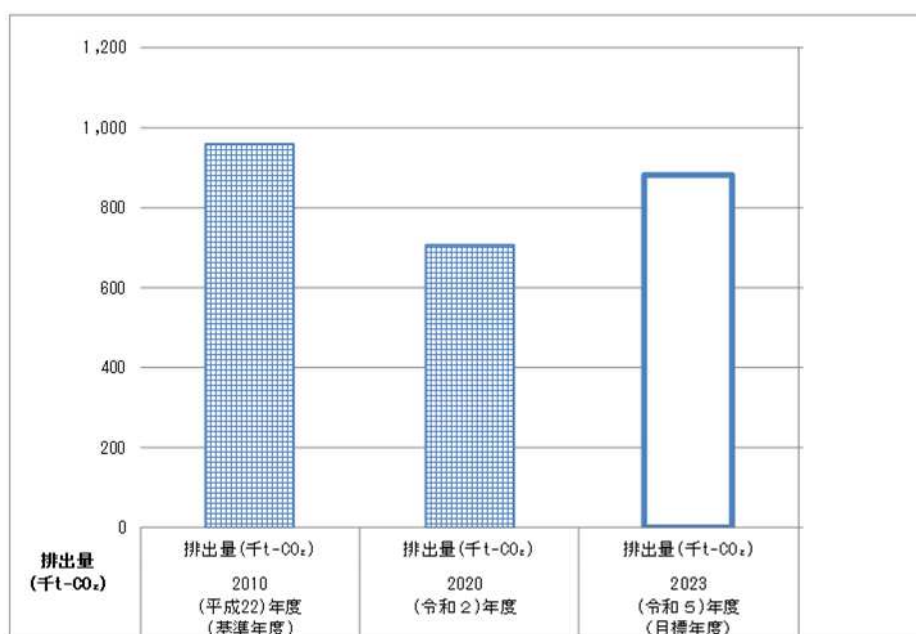
低炭素社会の構築を目指して

綾瀨市域の二酸化炭素排出量削減計画

2022(令和4)年度までの取組結果

二酸化炭素排出状況

年度	2010 (平成22)年度 (基準年度)	2020 (令和2)年度	2023 (令和5)年度 (目標年度)
	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)	排出量(千t-CO ₂)
排出量	958	708	883
基準年度比 (%)		26.1	7.8



1 綾瀬市地球温暖化対策推進計画(2015(平成27)年度～2023(令和5)年度)の概要
本計画は、2015(平成27)年3月に策定し、本市区域の自然的条件に応じた温室効果ガスの排出削減のための施策を定め、地球温暖化対策を推進するものです。

綾瀬市地球温暖化対策推進計画の概要は以下のとおりです。

根拠法令 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

計画の目的 第2次綾瀬市環境基本計画に掲げる低炭素社会の構築に向けた環境の将来像「地球温暖化防止のために、みんなで省エネ創エネを進めるまち」の実現を図る。

基準年度 2010(平成22)年度

計画期間 2015(平成27)年度～2023(令和5)年度

計画の位置づけ 環境行政の方向性を定めた第2次綾瀬市環境基本計画

(2014(平成26)年度～2023(令和5)年度)の分野別計画として、市民・事業者・市が一体となって取り組み、市域全体で施策を推進します。

対象温室効果ガス 地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第3項に基づ

く、二酸化炭素(CO₂)、メタン(CH₄)、一酸化二窒素(N₂O)、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(HFC)(パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの(PFC)、六ふっ化硫黄(SF₆)、三ふっ化窒素(NF₃)は、対象外とする。) (地球温暖化対策の推進に関する法律(2021(令和3)年6月改正))

基準年度(2010(平成22)年度)の二酸化炭素排出量 95万8千t-CO₂

削減目標 二酸化炭素排出量を2023(令和5)年度までに

7万5千t-CO₂(約8%)削減

(2023(令和5)年度二酸化炭素排出量目標:88万3千t-CO₂)

2 温室効果ガス排出量の算出方法

本市区域の排出量は、環境省手引書に沿って国や県のデータから推計する簡易的な按分手法を用いて算出しています。データの制約上2年程度さかのぼって算出することとなるため、2022(令和4)年度取組結果のデータは、2020(令和2)年度排出量となります。

3 2020(令和2)年度の二酸化炭素の排出状況

本計画では、2023(令和5)年度の削減目標として、基準年度(2010(平成22)年度)をベースに、二酸化炭素排出量を約7万5千t-CO(約8%)削減し、8万8千3千t-CO以下にすることを目指しています。

本市区域の2020(令和2)年度の二酸化炭素排出量の推計結果は70万8千t-COとなり、基準年度(2010(平成22)年度)と比較すると、約25万t-CO、26.1%の減少となりました。

温室効果ガス排出量

(単位:千t-CO)

温室効果ガス種・部門など	基準年度 2010 (平成22)年度	2013 (平成25)年度	2014 (平成26)年度	2015 (平成27)年度	2016 (平成28)年度	2017 (平成29)年度	2018 (平成30)年度	2019 (令和元)年度	2020 (令和2)年度	基準年比		
										増減量	増減率	
二酸化炭素 エネルギー起源 (間接排出量)	製造業	623	645	597	533	490	483	463	414	408	-215	-34.5%
	建設業・鉱業	10	7	6	6	6	5	5	4	6	-4	-40.0%
	農林水産業	2	4	5	6	7	8	5	5	6	4	200.0%
	小計	636	656	608	545	503	496	473	423	420	-216	-34.0%
	家庭部門	98	127	105	89	95	86	93	87	101	3	3.1%
	業務部門	93	99	110	110	96	83	82	87	79	-14	-15.1%
	運輸部門	121	119	116	118	117	117	119	115	102	-19	-15.7%
	小計	948	1001	939	862	811	782	767	712	702	-246	-25.9%
	非エネルギー起源(廃プラも焼却)	10	6	6	6	6	6	6	7	6	-4	-40.0%
	二酸化炭素(CO)排出量計	958	1,007	945	868	817	788	773	719	708	-250	-26.1%
その他のガス(CH ₄ 、N ₂ O、HFC)計	4	3	3	3	3	3	3	3	3	-1	-25.0%	
温室効果ガス計	962	1,010	948	871	820	791	776	722	711	-251	-26.1%	
人口(人)	83,167	83,828	83,990	84,460	84,427	84,139	84,229	83,317	83,913	746	0.9%	
1人当たり二酸化炭素排出量(t-CO/人)	11.5	12.0	11.3	10.3	9.7	9.4	9.2	8.6	8.4	-	-	
1人当たり温室効果ガス排出量(t-CO ₂ -e/人)	11.6	12.0	11.3	10.3	9.7	9.4	9.2	8.7	8.5	-	-	

数値は四捨五入して千t-COとしていますので、合計が合わないことがあります。
統計資料の修正などにより、過去の環境報告書と数値が異なるものがあります。

また、国全体での2020(令和2)年度の温室効果ガス排出量について、環境省では次のように考察しています。¹

- ・温室効果ガスの総排出量は、2014(平成26)年度以降7年連続で減少しており、排出量を算定している1990(平成2)年度以降、3年連続で最少を更新。
- ・前年度と比べて排出量が減少した要因としては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する製造業の生産量の減少や、旅客及び貨物輸送量の減少等に伴うエネルギー消費量の減少等が挙げられる。

¹ 「2020(令和2)年度の温室効果ガス排出量(確報値)について」環境省HPより抜粋

4 部門別の二酸化炭素の排出状況

本市域の二酸化炭素排出量の構成比は、産業部門 59.3%、家庭部門 14.3%、業務部門 11.2%、運輸部門 14.4%、廃棄物部門 0.8%となりました。

基準年度と比較すると、産業部門、業務部門、運輸部門、廃棄物部門の二酸化炭素排出量は減少していますが、家庭部門(+3.1%)の排出量は増加しています。

部門別二酸化炭素排出量の変動

(単位:千t-CO₂)

部門	基準年度 2010 (平成22)年度		2013 (平成25)年度		2014 (平成26)年度		2015 (平成27)年度		2016 (平成28)年度		2017 (平成29)年度		2018 (平成30)年度		2019 (令和元)年度		2020 (令和2)年度		基準年比		目標年度 2023 (令和5)年度	
	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	増減率	排出量	構成比
産業部門	636	66.4%	656	65.1%	608	64.3%	545	62.8%	503	61.6%	496	62.9%	473	61.2%	423	59.7%	420	59.3%	-216	-34.0%	611	69.2%
家庭部門	98	10.2%	127	12.6%	105	11.1%	89	10.3%	95	11.6%	86	10.9%	93	12.0%	87	12.3%	101	14.3%	3	3.1%	76	8.6%
業務部門	93	9.7%	99	9.8%	110	11.6%	110	12.7%	96	11.8%	83	10.5%	82	10.6%	87	12.3%	79	11.2%	-14	-15.1%	89	10.1%
運輸部門	121	12.6%	119	11.8%	116	12.3%	118	13.6%	117	14.3%	117	14.8%	119	15.4%	115	16.2%	102	14.4%	-19	-15.7%	99	11.2%
廃棄物部門	10	1.0%	6	0.6%	6	0.6%	6	0.7%	6	0.7%	6	0.8%	6	0.8%	7	1.0%	6	0.8%	-4	-40.0%	8	0.9%
合計	958	100.0%	1,007	100.0%	945	100.0%	868	100.0%	817	100.0%	788	100.0%	773	100.0%	719	101.6%	708	100.0%	-250	-26.1%	883	100.0%

数値は四捨五入して千t-CO₂としておりますので、合計が合わないことがあります。
統計資料の修正などにより、過去の環境報告書と数値が異なるものがあります。

産業部門

電力の低炭素化(再エネ拡大)や、工業統計に基づく製造品出荷額が、3,869億円(2010(平成22)年度)から3,339億円(2020(令和2)年度)と13.6%減少していることから、生産活動の縮小などが、二酸化炭素排出量減少の要因として考えられます。

家庭部門

電化製品の種類の増加や電化製品の保有台数の増加等により排出量が増加したと考えられます。

業務部門

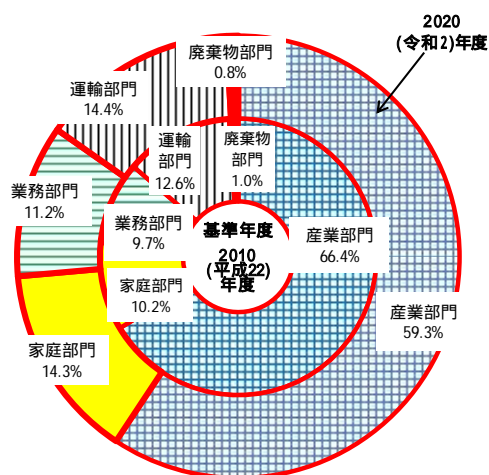
電力の低炭素化(再エネ拡大)に伴い、電力由来の二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

運輸部門

燃費の改善などにより二酸化炭素排出量が減少したと考えられます。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に起因する旅客及び貨物輸送量の減少等に伴うエネルギー消費量の減少等が考えられます。

部門別二酸化炭素排出量の変動



5 本市の取組状況

市では、市域からの二酸化炭素排出量を削減するため、2005(平成 17)年度から環境保全対策補助事業を、2006(平成 18)年度からあやせエコっと 2 1 を実施し、この 2 事業を中心に第 2 次綾瀬市環境基本計画を基に各種啓発事業に取り組んでいます。(啓発事業の取組結果については、「環境行動計画」及び「環境教育推進基本計画(アクションプラン)」参照)

環境保全対策補助事業については、本計画では、太陽光発電設備設置事業補助(再生可能エネルギーの導入)における二酸化炭素排出削減量を 2023(令和 5)年度 2,980 t-CO に設定しています。2022(令和 4)年度の削減量は、3,137 t-CO となり、計画目標達成率は 105.3%となるとともに、2022(令和 4)年度の目標 2,825 t-CO に対し、達成率は 111%となりました。

再生可能エネルギーの導入	対象	対象数		設定	削減見込量
(1) 市の太陽光発電設備設置等補助事業	現在の補助を継続	全対象数	計画での予定対象数	導入率(%)	(t-CO/年)
1) 住宅用太陽光発電設備設置補助	住宅	2011 2023年度までの予定対象数	1,900 軒	100%	2,770
2) 共同住宅用太陽光発電設備設置補助	共同住宅	2011 2023年度までの予定対象数	30 軒	100%	50
3) 事業所用太陽光発電設備設置補助	事業所	2011 2023年度までの予定対象数	30 件	100%	160
					2,980

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
CO 削減量 (kg-CO)	削減目標	個人	1,331,666	1,606,176	1,752,192	1,898,208	2,044,224	2,190,240	2,336,256	2,482,272	2,628,288	2,770,000
		共同	7,301	10,951	16,427	21,902	27,378	32,854	38,329	43,805	49,280	50,000
		事業所	43,805	32,854	49,280	65,707	82,134	98,561	114,988	131,414	147,841	160,000
		計	1,382,772	1,649,981	1,817,899	1,985,818	2,153,736	2,321,654	2,489,573	2,657,491	2,825,410	2,980,000
	削減実績	個人	1,221,486	1,904,234	2,079,205	2,139,362	2,220,934	2,282,955	2,317,954	2,412,075	2,595,513	
		共同	8,016.28	15,766	18,640	18,118	17,708	22,122	21,602	24,080	24,619	
		事業所	39,734.60	54,969	532,145	541,997	537,482	529,561	517,114	505,798	517,114	
	計	1,269,237	1,974,969	2,629,990	2,699,477	2,776,123	2,834,639	2,856,670	2,941,953	3,137,246	0	
	達成率	91.8%	119.7%	144.7%	135.9%	128.9%	122.1%	114.7%	110.7%	111.0%		
2023年度:目標達成率		42.6%	66.3%	88.3%	90.6%	93.2%	95.1%	95.9%	98.7%	105.3%		

全環境保全対策補助事業及びあやせエコっと 2 1 家庭編により、2022(令和 4)年度では、3,788.3 t-CO の二酸化炭素の削減効果があり、50年杉 270,600 本/年の植林効果(1本約 14kg/年:関東森林管理局)に匹敵します。

また、人で試算すると 2,069 人分(2022(令和 4)年度:約 1,831kg-CO /年:温室効果ガスインベントリオフィス)の二酸化炭素排出量となります。

なお、2022(令和 4)年度の取組結果は次のとおりとなりました。

二酸化炭素排出量の算定

二酸化炭素排出量の算定は、環境省が2017(平成29)年3月に策定した「地方公共団体実行計画(区域施策編)策定・実施マニュアル」に基づき行う。(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数: 0.457 kg-CO₂ /kWh)

2023(令和5)年8月1日現在で把握できる最新の排出係数を使用することとします。

2013(平成25)年の排出係数で算定する方法から変更。

- (1) 環境保全対策補助事業: 太陽光発電設備の導入など地球温暖化対策に有効な機器の導入に対し、一部経費を助成することによって普及促進を図っています。この取り組みにより、2022(令和4)年度では3,785.1 t-CO₂の二酸化炭素を削減することができました。

太陽光発電設備設置補助金(個人住宅・共同住宅・事業所用)

2005(平成17)年度から開始した個人住宅用補助は、2022(令和4)年度までに1,399件で5679.46kW、2013(平成25)年度から開始した共同住宅用が8件で53.87kW及び事業所用が15件で1,131.54kW、合計6864.87kWとなりました。年間では、6,864.87MWh(6,864.87kW×1,000kWh/年)の電力を生むことになり、3,137.2 t-CO₂(6,864.87kW×1,000kWh×0.457(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数: 0.457kg-CO₂/kWh))の二酸化炭素が削減できました。

家庭用燃料電池(エネファーム)設置補助金(2013(平成25)年度から実施)

2013(平成25)年度から開始し、2022(令和4)年度までの累計は256台となり、340.5 t-CO₂〔256台×1,330kg-CO₂(1台当たりの年間削減量)〕の二酸化炭素が削減できました。

電気自動車導入補助金(2011(平成23)年度から実施)

2011(平成23)年度から開始し、2022(令和4)年度までの累計は165台となり、1kWh(1)当たり10km、年平均10,000km走行すると想定した場合、年間、約307.4 t-CO₂〔(165台×10,000km÷10km/ ×2.32(ガソリン排出係数))-(165台×10,000km÷10km/kWh×0.457(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数: 0.457kg-CO₂/kWh))〕の二酸化炭素が削減できました。

雨水貯留槽設置補助金

(2005(平成17)年度から2016(平成28)年度まで実施)

2005(平成17)年度から開始し、2016(平成28)年度までの累計は117基となり、18,039の節水効果となりました(2016(平成28)年度で制度終了)。

住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	最大出力 (kW)
2005～2014	912	3,346.17
2015(H27)	98	424.59
2016(H28)	83	387.65
2017(H29)	57	243.57
2018(H30)	54	273.67
2019(R1)	40	202.46
2020(R2)	41	194.00
2021(R3)	59	324.03
2022(R4)	55	283.32
合計	1,399	5,679.46

家庭用燃料電池設置状況

年度	台数
2013～2014	39
2015(H27)	23
2016(H28)	26
2017(H29)	51
2018(H30)	29
2019(R1)	20
2020(R2)	38
2021(R3)	14
2022(R4)	16
合計	256

共同住宅用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	最大出力 (kW)
2012～2014	4	21.96
2015(H27)	1	9.26
2016(H28)	1	6.06
2019(R1)	1	9.99
2021(R3)	1	6.60
合計	8	53.87

電気自動車導入状況

年度	台数
2011～2014	48
2015(H27)	13
2016(H28)	12
2017(H29)	15
2018(H30)	12
2019(R1)	16
2020(R2)	9
2021(R3)	9
2022(R4)	31
合計	165

事業所用太陽光発電設備設置状況

年度	件数 (件)	最大出力 (kW)
2012～2014	8	108.85
2016(H28)	5	998.10
2017(H29)	1	8.27
2018(H30)	1	16.32
合計	15	1,131.54

雨水貯留槽設置状況

年度	件数 (件)	容量 ()
2005～2014	107	16,154
2015(H27)	5	1,100
2016(H28)	5	785
2016年度で補助制度終了		
合計	117	18,039

(2) あやせエコっと21(家庭編)キャンペーン：家庭での節電など、環境に配慮した行動や取り組みを進めていくため、2013(平成25)年度から始まった市独自の普及・啓発活動です。前年同月比等で二酸化炭素排出量を抑制した場合に応募でき、抽選であやせ名産品などの賞品が当たるキャンペーンで、2014(平成26)年度からは、あやせ環境ネットワークと協働で実施しています。

2022(令和4)年度は、この取り組み(節電・家電製品買換え・再配達防止・LED電球交換・食品ロス削減)により、合計で約3.2t-CO₂の二酸化炭素排出量の抑制ができました。

節電コース

応募件数

年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	497	280	248	214	120	187	58	89	53

期間中の使用量が昨年同期より削減できた場合に応募できます。二酸化炭素削減量：2022(令和4)年度は、53件、1,656kWhの削減。これに、電気の二酸化炭素係数0.457(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数：0.457kg-CO₂/kWh)を乗じて、節電で約757kg-CO₂の二酸化炭素を削減することができました(推計)。

○家電製品買換えコース

応募件数

年度	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022
件数	12	74	15	10	13	24	11	12

エアコン、冷蔵庫、テレビを消費電力が減少するものに買い換えた場合に購入店に応じた口数の応募ができます。環境省の「しんきゅうさん：省エネ製品買換えナビゲーション」に基づく、二酸化炭素削減量は、約1,145kg-CO₂となりました(推計)。

○再配達防止コース

応募件数

年度	2019	2020	2021	2022
件数	47	91	46	64

時間指定・受取場所指定等を実施した場合に応募できます。再配達1回あたり1.41kg-CO₂を排出したとすると、約90.2kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました(推計)

○LED電球交換コース

応募件数

年度	2020	2021	2022
件数	39	15	20

LED電球を購入した場合に購入店に応じた口数の応募ができます。白熱電球(1日5~6時間点灯、108kWh/年)からLED電球(1日5~6時間点灯、15kWh/年)に交換し、使用した場合に約850kg-CO₂を削減できました。

(推計)

$$(108\text{kWh}-15\text{kWh}) \times 20\text{件}=1,860\text{kWh削減}$$

$$1,860\text{kWh} \times 0.457\text{排出係数} = 850\text{kg-CO}_2$$

(東京電力エナジーパートナー(株)排出係数:0.457kg-CO₂/kWh)

○食品ロスコース

応募件数

年度	2022
件数	1,356

令和4年度より新たに開始したコースです。市内店舗で値引きされた食料品3点で1口として応募できます。

食料品1点あたり0.25kg-CO₂を排出したとすると、約339kg-CO₂の二酸化炭素が削減できました(推計)

○節水コース:2016(平成28)年度を最後に廃止。

レジ袋削減コース:2020(令和2)年度を最後に廃止。

(3) あやせエコっと21(学童編): 市内在住の小学5年生を対象に、夏休み期間中の10日間、省エネ行動を実践することで省エネ意識の向上を図りました。参加児童数339人。

(4) あやせエコっと21(事業所編): 43項目の環境配慮行動から2項目以上に取り組んだ事業所を「環境に配慮する事業所」として登録し、市HPで紹介することにより事業者の環境配慮行動を促しました。

年度	2006	2007	2008	2009	2010	2012	2013	2014	2017	2018	2019	2021	2022	合計
新規登録	1	8	14	1	3	5	5	10	2	1	1	1	1	53
53(累計登録件数) - 5(辞退件数) = 48(2022(令和4)年度末件数)														

6 今後の取り組み

第2次綾瀬市環境基本計画に基づく「環境行動計画」により、低炭素社会の構築に向けた取り組みを推進しており、二酸化炭素排出量について基準年度(2010(平成22)年度)と比較したところ、産業部門、業務部門、運輸部門、廃棄物部門は全て減少していますが、家庭部門からの排出量は微増となりました。

その要因として電化製品の種類や保有台数の増加、大型化の他に、世帯数の増加等が考えられます。

引き続き、市民や市民団体、事業者等と連携し、省エネの実践に向けた意識啓発事業の実施や再エネ・省エネ設備等の活用を支援するとともに、「環境保全対策補助事業」や「あやせエコっと21(家庭編・学童編・事業所編)」を継続実施し、二酸化炭素排出量の削減に取り組む必要があります。

また、上記のことだけでなく、2022年(令和4)年3月に表明したゼロカーボンシティ実現に向け、公共施設のLED化や、太陽光発電設備設置などの取り組みも強化する必要があります。

第3次

綾瀬市地球温暖化対策実行計画

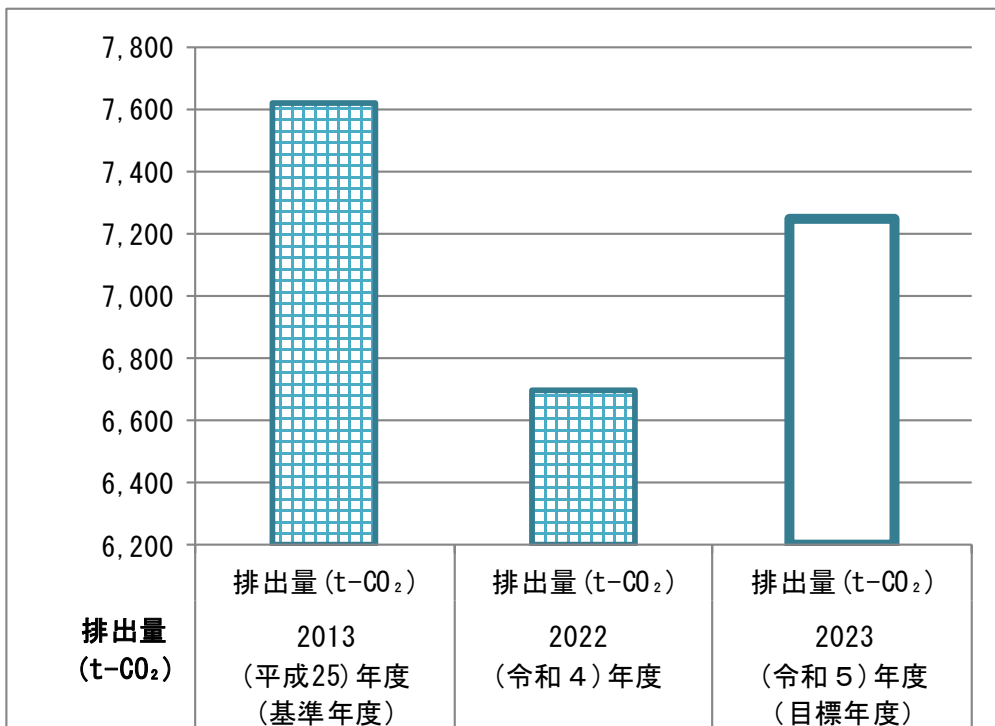
(事務事業編)

取組結果(2022(令和4)年度実績)

※市公共施設等の二酸化炭素排出量削減計画

二酸化炭素排出状況

年度	2013 (平成25)年度 (基準年度)	2022 (令和4)年度	2023 (令和5)年度 (目標年度)
	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)	排出量(t-CO ₂)
排出量	7,624	6,700	7,252
基準年度比 (%)	—	△ 12.1	△ 4.9



1 第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画

(2020(令和2)年度～2023(令和5)年度)の概要

本計画は、第1次実行計画(2010(平成22)年度～2014(平成26)年度)及び第2次実行計画(2015(平成27)年度～2019(令和元)年度)を受け、第3次実行計画として2020(令和2)年3月に策定し、綾瀬市行政の全ての事務事業(公共施設等)から排出される温室効果ガスの削減に向けた各種取組を推進するものです。

◇第3次実行計画(事務事業編)の概要は以下のとおりです。

○**根拠法令** 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条

○**計画の目的** 温室効果ガスの排出量の削減目標の実現に向け各種取組を行い、地球温暖化対策の推進を図る。

○**基準年度** 2013(平成25)年度

○**計画期間** 2020(令和2)年度～2023(令和5)年度

○**目標年度** 2023(令和5)年度

○**計画の位置づけ** 綾瀬市環境基本条例の基本理念を基に、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げられた重点施策を踏まえるとともに、綾瀬市環境マネジメントシステム(あやせEMS)の環境配慮プログラムの取組のうち、特に温室効果ガスの排出削減を推進する取組やその推進体制を生かしながら進める。

○**対象事務事業** 市長部局、消防、議会事務局、監査事務局、選挙管理委員会事務局、農業委員会事務局、教育委員会で行う全ての事務事業

○**対象温室効果ガス** 二酸化炭素〔他の温室効果ガス(メタン、一酸化二窒素、ハイドロフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、パーフルオロカーボンのうち政令で定めるもの、六ふっ化硫黄、三ふっ化窒素)は、対象外とする。〕

○**基準年度(2013(平成25)年度)の二酸化炭素排出量** 7,624 t-CO₂

○**削減目標** 二酸化炭素排出量を2023(令和5)年度までに、
2013(平成25)年度比△4.9%

【温室効果ガス(二酸化炭素排出量)の削減目標】

	2013(平成25)年度	2023(令和5)年度	
	実績・基準値	目標値	削減目標
CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	7,624	7,252	372
平成25年度比(%)	—	95.1	4.9

○ 温室効果ガス排出量の算定

温室効果ガス総排出量の算定は、環境省が2017(平成29)年3月に発行した「温室効果ガス総排出量算定方法ガイドライン」に基づき行う。※2013(平成25)年の排出係数で算定する方法から変更。

2 2022(令和4)年度 of 取組状況の把握方法

綾瀬市が管理する公共施設で行う事務事業を対象としていることから、取組状況の把握は「綾瀬市環境マネジメントシステム（あやせEMS）」により、各施設管理主管課を通じて、電気、ガス、灯油などのエネルギーの使用量を集計し、二酸化炭素排出量を推計しました。

3 2022(令和4)年度 of 二酸化炭素の排出状況

本計画の削減目標は、2023(令和5)年度までに、2013(平成25)年度比4.9%削減としていますが、2022(令和4)年度の事務事業から排出された二酸化炭素の総量は、6,700 t-CO₂となり、基準年度（2013(平成25)年度）と比較すると、924 t-CO₂減少（12.1%減少）という結果になりました。

2013(平成25)年度（基準年度）の二酸化炭素排出量	: 7,624 t-CO ₂
2022(令和4)年度の二酸化炭素排出量	: 6,700 t-CO ₂
基準年度に対する増減率	: △12.1%

【二酸化炭素の活動項目別排出状況】

活動項目		2022(令和4)年度				
		使用量	単位	排出係数	排出量	単位
電気の使用	東京電力(株)など	12,016,733	kWh	0.018~0.556	5,159,114	kg-CO ₂
燃料の使用	ガソリン	69,871	L	2.32	162,100	
	灯油	36,881		2.49	91,834	
	軽油	64,669		2.58	166,845	
	A重油	0		2.71	0	
	液化石油ガス(LPG)	2,846	m ³	3.00	8,537	
	都市ガス(13A)	498,001		2.23	1,110,542	
	天然ガス(CNG)	721		2.22	1,602	
合 計					6,700,572	

※単位未満四捨五入のため、合計と内訳が一致しない場合があります。

※ガソリン、軽油、LPGは施設と公用車の排出量の合計となります。

※電気の排出係数は、電気事業者により異なります。

4 活動項目別の二酸化炭素排出状況の比較

基準年度（2013(平成 25)年度）と、2022(令和 4)年度の燃料等の使用量及び二酸化炭素排出量を比較すると、下表のとおりとなりました。（資料編参照 P 4 3 ～）

【燃料等種類別二酸化炭素排出状況の比較】

活動項目		燃料等の使用量		二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)				種類別割合 2022 (R4)年度		
		単位	基準年度 2013 (H25)年度	2022 (R4)年度	基準年度 2013(H25)年度		2022(R4)年度		対基準年 度増減率	
					排出係数	排出量	排出係数			排出量
電気の使用	東京電力㈱	kWh	6,532,590	2,108,836	0.531	3,468,805	0.434	915,235	-6.3%	77.0%
	東京電力エナジー パートナー㈱		-	5,865,797	-	-	0.457	2,680,669		
	昭和シェル石油㈱		1,427,493	-	0.377	538,165	-	-		
	㈱エネット		3,547,870	0	0.423	1,500,749	0.000	0		
	リエスパワー㈱		-	648,791	-	-	0.368	238,755		
	マイクログリーンエネギー㈱		-	20,658	-	-	0.342	7,065		
	ゼロワットパワー㈱		-	75,218	-	-	0.025	1,880		
	㈱V-Power		-	2,161,354	-	-	0.380	821,315		
	東京ガス㈱		-	1,136,079	-	-	0.435	494,194		
小 計	-	11,507,953	12,016,733	-	5,507,719	-	5,159,114	-	-	
燃料の使用	ガソリン	L	65,788	69,871	2.32	152,627	2.32	162,100	6.2%	2.4%
	灯油		235,061	36,881	2.49	585,302	2.49	91,834	-84.3%	1.4%
	軽油		68,630	64,669	2.58	177,066	2.58	166,845	-5.8%	2.5%
	A重油		146,200	0	2.71	396,202	2.71	0	-100.0%	0.0%
	液化石油ガス(LPG)	m ³	5,837	2,846	3.00	17,511	3.00	8,537	-51.2%	0.1%
	都市ガス(13A)		352,288	498,001	2.23	785,602	2.23	1,110,542	41.4%	16.6%
	天然ガス(CNG)		900	721	2.22	1,998	2.22	1,602	-19.8%	0.0%
	小 計	-	-	-	-	2,116,308	-	1,541,459	-27.2%	23.0%
合 計	-	-	-	-	7,624,027	-	6,700,572	-12.1%	100.0%	

※単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

※対基準年度増減率 = (2022年度CO₂排出量 - 基準年度CO₂排出量) ÷ 基準年度CO₂排出量 × 100

※種類別割合 = 各燃料の2022年度CO₂排出量 ÷ 2022年度CO₂総排出量 × 100

電気について、契約の切り替えなどで排出係数の少ない電気事業者から買電していることにより、二酸化炭素排出量は基準年度比6.3%減少しました。

燃料の使用による二酸化炭素排出量は、基準年度比27.2%減少させることができました。燃料の種類別に比較すると、学校の空調設備のほか、学校給食センター設備のエネルギー源転換などにより、排出量は基準年度比でA重油100%、液化石油ガス(LPG)51.2%、灯油は84.3%、それぞれ減少させることができました。

また、前述の学校給食センター設備のエネルギー源転換などに伴い、都市ガスの排出量が41.4%増加しましたが、都市ガスはA重油よりも二酸化炭素排出係数が低いエネルギー源となっております。

なお、ガソリンの使用量が、6.2%増加していますが、消防署の救急件数増加等が考えられます。

5 今後の取り組み

2022(令和4)年度において、二酸化炭素排出量2013(平成25)年度(基準年度)比4.9%削減の目標を上回る12.1%の削減を達成しました。目標を上回った要因としては、施設の高効率設備への更新や、契約の切り替えなどで排出係数の少ない電気事業者から買電していることなどが挙げられます。

国は2050年カーボンニュートラルを宣言し、脱炭素社会の実現に向け、地球温暖化対策推進法の改正や政府が事務事業に関し温室効果ガスの排出抑制等のため実行すべき措置について定める計画(政府実行計画)の改訂を行いました。

また、市は2022(令和4)年3月にゼロカーボンシティを目指すことを表明しました。

脱炭素社会の実現に向け、二酸化炭素の排出量を減少させていくためには、引き続き、高効率設備への更新や再エネ設備の導入を推進していく必要があります。

あやせ環境教育推進基本計画

—2015(平成27)年度～2023(令和5)年度—

2022(令和4)年度 取組結果

1 あやせ環境教育推進基本計画—2015(平成27)年度～2023(令和5)年度—の概要

市では、「環境基本計画」の環境の将来像VI「環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち」の中の基本目標の一つに「環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます」と定めており、あらゆる機会を活用して、子どもから大人までを対象とした環境教育・環境学習を進めることとしています。

本計画は、「環境基本計画」を受け、「環境教育等による環境保全の取り組みの推進に関する法律」第8条に基づき、2015(平成27)年3月に策定し、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるために、各種取組を推進するものです。

◇ あやせ環境教育推進基本計画の概要は以下のとおりです。

- **計画の位置づけ** 「綾瀬市環境基本条例」第13条に基づき、環境教育及び学習の振興並びに啓発活動の充実を図るとともに、「第2次綾瀬市環境基本計画」に掲げる、環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めるための計画とします。
- **対象期間** 2015(平成27)年度～2023(令和5)年度

2 2022(令和4)年度の取組状況の把握方法

取組状況の把握は、**行動計画(アクションプラン)**として定めた49項目について、「綾瀬市環境マネジメントシステム(あやせEMS)」により所管課に照会し、取組実績を確認しました。

3 2022(令和4)年度の実績結果

アクションプラン49項目のうち42項目を目標どおり実行しました。(資料編参照P48～55)

◎：目標どおり、○：ほぼ目標どおり、

△：一部未実施又は一部未達成、×：未実施又は未達成

◆(1) 人材の育成と活用 4項目：◎3項目、×1項目

○ No.2「地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加」について、×：未実施となりました。

◆(2) プログラム等の整備と活用 6項目：◎6項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き環境教育に関する教材等の整備を進めていきます。

◆(3) 参加の場や機会づくり

37項目：◎33項目、△3項目、×1項目

○ 事業見直しなどのため、3項目について△：一部未実施又は未達成、1項目について×：未実施となりました。

◆(4) 情報提供と相談体制の整備 2項目：◎2項目

○ すべての項目を達成することができました。引き続き情報提供と相談体制の整備を推進します。

4 今後の取り組み

2022(令和4)年度は、アクションプラン49項目中3項目が「一部未実施又は一部未達成」、2項目が「未実施又は未達成」となりました。

主な要因は、事業見直しにより実施しなかったことや、事業実施の予定はあったものの、実施に至らなかったことや参加者数が目標値に達成しなかったことです。

事業内容の見直しや、周知方法を再度検討し、啓発活動を継続する必要があります。

さらに、「綾瀬市環境学習プログラム集」の内容を定期的に更新し、情報提供することで、環境保全の取り組みへのきっかけづくりを推進する必要があります。

**あやせの緑と水をみんなで育み、環境にやさしい暮らしを实践し、安全なまちづくりを進める
～あやせの環境文化と持続可能な社会の形成をめざして～
令和4年度 環境指標結果**

環境の将来像 I	10指標
-----------------	------

○	4指標
△	5指標
×	1指標

※豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち(自然共生社会の構築)

基本目標 ① 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます【動植物】

指標(成果指標)の例		令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
1	1 あやせ生物多様性行動指針の 策定と推進	平成27年度までに策 定 その後指針に基づいて 推進	推進	未策定 (平成29年度の環境施策 調整会議において策定し ないと決定)	×
2	2 長峰の森等生物生育・生息地の 指定	2箇所(R2)以上	2箇所(R2)以上	調整	△
3	3 生物多様性行動戦略に関する調 査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	○

基本目標 ② 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします【市民】

指標(成果指標)の例		令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
4	4 緑被率	33.7%(R2) を維持	33.7%(R2) を維持	37.11%(H27)	○
5	5 緑地の確保	434.3ha(R2) 以上	434.3ha(R2) 以上	408.5ha	△

基本目標 ③ カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります【市民】

指標(成果指標)の例		令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
6	6 湧水の整備箇所	1箇所	1箇所	調整	△
7	7 水辺環境の整備への満足度	50%(R2)以上	50%(R2)以上	55%(H30)	○

基本目標 ④ 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます【農地】

指標(成果指標)の例		令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
8	8 農用地面積	132ha(R5) の維持	132ha(R4) の維持	148haの維持	○
9	9 市内農業体験農園利用者数	300人(R5) 以上	300人(R4) 以上	260人	△
10	10 食育に関心のある人の割合	70%(R2)以上	70%(R2)以上	63.5%(H30)	△

環境の将来像 II	9指標
------------------	-----

○	9指標
△	0指標
×	0指標

※生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち(生活環境の保全・改善)

基本目標 ① 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします【大気】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
11	1	大気の汚染に係る環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	光化学オキシダントを除く 各項目とも環境基準値以 内	調査実施	○
12	2	有害大気汚染物質に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○
13	3	ダイオキシン類に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○

基本目標 ② さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります【河川】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
14	4	河川水質の環境基準 (生活環境項目)	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも概ね環境基 準値以内	調査実施	○
15	5	地下水の水質汚濁に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○
16	6	ダイオキシン類に係る 環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	各項目とも環境基準値 以内	調査実施	○
17	7	生活排水処理率	98.6%(R3) 以上	98.6%	99.5%	○

基本目標 ③ 航空機騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住み良いまちにします【騒音】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
18	8	航空機騒音に係る環境基準	環境基準の達成	環境基準値以内	調査実施	○
19	9	騒音に係る環境基準	環境基準の達成維持 及び改善	環境基準値以内	調査実施	○

環境の将来像Ⅲ	11指標
----------------	------

○	5指標
△	6指標
×	0指標

※歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち(文化・都市環境の形成)

基本目標 ① 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます【文化財】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
20	1	市内指定文化財件数	15件(R2)以上	15件(R2)以上	15件	○
21	2	文化財保護啓発事業の開催数	5事業	5事業	10事業	○

基本目標 ② 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります【景観】

		指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
22	3	市民一人当たりの公園面積	8.1㎡(R2)以上	8.1㎡(R2)以上	6.96㎡	△
23	4	市内の緑と公園に満足している 市民の割合	52%(R2)以上	52%(R2)以上	67.9%	○

基本目標 ③ 人と環境にやさしい交通体系を整備します【交通】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価	
24	5	公共交通機関(バス) 利用満足度	50%(R2)以上	50%(R2)以上	60.6% (R04)	○
25	6	路線バス利用者数	12,700千人(R2)以上	12,700千人(R2)以上	8,282千人 (R03)	△

基本目標 ④ オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます【防災】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価	
26	7	緑地の確保【基本目標 I -2】	434.3ha(R2) 以上	434.3ha(R2) 以上	408.5ha	△
27	8	農用地面積【基本目標 I -4】	132ha(R5) の維持	132ha(R4) の維持	148haの維持	○

基本目標 ⑤ ごみが散乱しないきれいなまちにします【不法投棄】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価	
28	9	まち美化マナー宣言登録者数	累計2,000人(R2)以上	累計2,000人(R2)以上	1,153人	△
29	10	環境衛生対策の満足度	80%(R2)以上	80%(R2)以上	63.6%	△
30	11	ポイ捨て等投棄防止/パトロール 用ビブスの貸与	累計7件	累計6件	累計2件	△

環境の将来像Ⅳ	5指標	○	1指標
		△	4指標
		×	0指標

ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち(循環型社会の構築)

基本目標 ① 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します【ごみ】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価	
31	1	市民1人1日あたりの家庭からの ごみ排出量	662g/人・日(R3)以下	662g/人・日(R3)以下	622g/人・日	○
32	2	事業系ごみの減量化(排出量)	2,562t(R3) 以下	2,562t(R3) 以下	3,721.29t	△
33	3	焼却処理されるごみ量	15,000t(R3) 以下	15,000t(R3) 以下	17,659.6t	△
34	4	市民1人1日あたりの家庭可燃ご み量	400g/人・日(R1)以下	400g/人・日(R1)以下	436g/人・日	△

基本目標 ② 資源を大切に、再使用や再生利用を進めます【リサイクル等】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価	
35	5	リサイクル率	40%(R3)以上	40%(R3)以上	21.9%	△

環境の将来像Ⅴ	2指標	○	2指標
		△	0指標
		×	0指標

※地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち(低炭素社会の構築)

基本目標 ① 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます【省エネ】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
36	1 地球にやさしい生活を実践している市民の割合	75%(R2)以上	75%(R2)以上	76.2% (H28)	○

基本目標 ② 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます【創エネ】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
37	2 補助金助成により設置された住宅用太陽光発電設備の出力	4,300kW 以上	2,600kW 以上	・令和4年度:283.32kW ・累計:5679.46kW	○

環境の将来像Ⅵ	7指標	○	4指標
		△	3指標
		×	0指標

※環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち(協働社会の構築)

基本目標 ① 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます【育成】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
38	1 (仮称)あやせ環境教育推進基本計画の策定と推進	平成26年度策定 その後計画に基づき推 進	推進	推進	○
39	2 環境学習プログラム集の活用	累計7件	累計5件	累計3件	△
40	3 あやせエコっと21学童編(応募者数)	累計1,000人 以上	累計1,000人	累計1,340人	○

基本目標 ② 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます【4者】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
41	4 あやせエコっと21家庭編(応募家庭数)	1,000家庭以上	920家庭以上	・節電:33世帯 ・LED電球交換:8世帯 ・家電買換え:8世帯 ・再配達防止:31世帯 ・食品ロス:148世帯 計228世帯	△

基本目標 ③ 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます【事業者】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
42	5 あやせエコっと21事業所編(登録事業所)※	100事業所	100事業所	4年度:1事業所 累計:48事業所	△

基本目標 ④ 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます【情報】

	指標(成果指標)の例	令和5年度 目標値	令和4年度 目標値	令和4年度 実績	評価
43	6 環境報告書の発行	年1回	年1回	3月に発行	○
44	7 環境情報の発行	年1回	年1回	8月に発行	○

※行動計画、教育計画で目標値を見直しています。

【 資料編 】

(2) 第4期綾瀬市環境行動計画

環境の将来像 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち (自然共生社会の構築) 目標どおり「 :100%」、ほぼ目標どおり「 :80%~」、一部未実施又は一部未達成「」、未実施又は未達成「x」					総合評価	
総合評価は、 10項目、○1項目、 2項目、 ×1項目となりました。					10	
					1	
					2	
					× 1	
基本目標 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます					評価	
全4項目のうち、 3項目、 1項目となりました。					3	
					0	
					1	
					× 0	
行動内容		3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価	
方針(1)綾瀬の生物を知る、生物多様性を守り、育む						
1	1	生物多様性行動戦略策定 に向けた調査の実施	調査実施	R03: 県計画の情報収集 R04: 県計画の情報収集		
方針(2)カワセミやホタルなど綾瀬に生育・生息する生物を調べ、健全な生態系を育む						
2	2	生態系被害防止外来種の情報収集	情報収集	R03: 情報収集 R04: 情報収集		
3	3	特定外来生物駆除の推進	アライグマ捕獲頭数 年120頭以上	R03: 82頭 R04: 60頭		
方針(3)都市に隣接した良好な里地里山の良好な生物生息環境を育み、つなぐ						
4	4	目久尻川の多自然型護岸 整備及びビオトープを念 頭においた公園整備	保全及び指定準備	R03: ビオトープを念頭においた公園整備内容 の情報収集を行った R04: ビオトープを念頭においた公園整備内容 の情報収集を行った		
基本目標 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします					評価	
全4項目のうち、 4項目となりました。					4	
					0	
					0	
					× 0	
行動内容		3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価	
方針(2) 水辺の斜面林など里地里山環境を保全・再生する						
5	1	里山再生と持続可能な森 づくり	緑地保全を累計 3か 所 以上指定	R03: 森林保全に関する情報収集を行った R04: 森林保全に関する情報収集を行った		

方針(3) 身近な緑をつくり、育てる					
6	2	緑地及び樹木の管理のための補助	緑地保全協定の締結に努める	R03：緑地保全協定を継続（42箇所） R04：緑地保全協定を継続（42箇所）	
7	3	緑地保全地区の確保	緑地保全協定の締結に努める	R03：緑地保全協定を継続（延べ113,746㎡） R04：緑地保全協定を継続（延べ113,746㎡）	
8	4	生垣奨励事業の推進	啓発年1回以上	R03：広報あやせで周知を実施（8/15号） R04：広報あやせで周知を実施（8/1号）	
基本目標 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります					評価
行動内容は設定しないが環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます					評価
全6項目のうち、3項目、○1項目、1項目、×1項目となりました。 未実施となったNo.12-4「農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催」について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としています。					3
					1
					1
					× 1
行動内容	3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価	
方針(1) 農地を保全し、農地の環境保全機能を向上する					
9	1	若手農業者、新規就農者の確保	1人以上	R03：1人 R04：0人	
			×		
10	2	農業ボランティア活動の推進	年1回以上 (延べ320人)	R03：援農ボランティア養成講座（10回、延べ60人）、派遣ボランティア派遣（339人） R04：援農ボランティア参加者数延べ213名、援農ボランティア派遣者数延べ272名。	○
11	3	農用地利用集積制度の活用	利用斡旋40件以上	R03：79件 R04：73件	
方針(2) 土と農と食とのふれあいを高める					
12	4	農地を通じた緑とふれあい場としての収穫祭の開催	年1回以上 (30,000人以上) (3事業者以上)	R03：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止 R04：新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止	×
			×	×	

13	5	学校給食への市内農畜産物の供給	20%以上 (品数)	R03 : 52% R04 : 52%	
14	6	市民ふれあい農園の整備	6箇所以上の維持	R03 : 市内6箇所のふれあい農園を整備、維持運営 R04 : 市内6箇所のふれあい農園を整備、維持運営	
環境の将来像 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち (生活環境の保全・改善) <small>目標どおり「 :100%」、ほぼ目標どおり「 :80%~」、一部未実施又は一部未達成「 」</small> 、未実施又は未達成「 x 」					総合評価
行動内容を設定しないため、評価なし。					
基本目標 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
基本目標 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
基本目標 航空騒音が少なく、静かで、安らぎのある、住みよいまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					
環境の将来像 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち (文化・都市環境の形成) <small>目標どおり「 :100%」、ほぼ目標どおり「 :80%~」、一部未実施又は一部未達成「 」</small> 、未実施又は未達成「 x 」					総合評価
総合評価は、 6項目となりました。					6 0 0 x 0
基本目標 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます					評価
全1項目のうち、 1項目となりました。					1 0 0 x 0
行動内容		3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価
方針(2) 綾瀬の歴史・文化とふれあい、知る					
20	1	癒しの音風景の検討・発見	研究	R03 : 先進自治体取組例の調査研究 R04 : 先進自治体取組例の調査研究	
基本目標 都市公園など市街地の緑を増やし、うるおいのある景観をつくります					評価
全1項目のうち、 1項目となりました。					1 0 0 x 0

行動内容		3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価
方針(2) 良好な街並みをつくる					
21	1	景観形成重点地区の 指定 に向けた事業の実施	検討	R03：景観形成重点地区を指定したことによる 条例改正を実施 R04：良好な景観形成の推進	
基本目標 人と環境にやさしい交通体系を整備します					評価
全4項目のうち、 4項目となりました。					4
					0
					0
					× 0
行動内容		3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価
方針(2) 環境にやさしい交通利用をすすめる					
22	1	バス乗り換え拠点の整備	駐輪場1箇所	R03：駐輪場の環境整備（放置自転車撤去等） を実施 R04：駐輪場の環境整備（放置自転車撤去等） を実施	
23	2	コミュニティバスの利用 促進	啓発年1回以上	R03：広報あやせ等で周知を実施 R04：広報あやせ等で周知を実施	
方針(3) 安全で環境負荷の少ない道をつくる					
24	3	市道のバリアフリー化	推進	R03：市道325号線を約230m整備 R04：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構 造を含む工事を完了、市道17号線）	
25	4	自転車・歩行者道の整備	推進	R03：市道325号線を約230m整備 R04：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構 造を含む工事を完了、市道17号線）	
基本目標 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます					評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標 ごみが散乱しないきれいなまちにします					評価
行動内容は設定しないが、指標の目標値の進行管理は担当課で実施。					

環境の将来像					総合評価	
ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち (循環型社会の構築) 目標どおり「 :100%」、ほぼ目標どおり「 :80%~」、一部未実施又は一部未達成「 」, 未実施又は未達成「 x」						
総合評価は、 4項目、 3項目、 1項目となりました。					4	
					3	
					1	
					x 0	
基本目標 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します					評価	
全4項目のうち、 3項目、 1項目となりました。					3	
					1	
					0	
					x 0	
行動内容	3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価		
方針(1) ごみの発生抑制と減量化を進める						
26	1	生ごみ処理容器購入費助成	年30基以上	R03 : 114基 R04 : 65基		
27	2	家庭系ごみの減量化 (平成27年度比)	3%削減	R03 : 2.55%減 R04 : 5.96%減	○	
28	3	プラスチック資源循環に 向けた事業の検討	検討	R03 : 情報収集を実施 R04 : 情報収集を実施		
方針(2) 廃棄物の適正処理を進める						
29	4	中間処理施設での搬入物 検査、環境測定の実施	年1回以上	R03 : 高座清掃施設組合ダイオキシン立会い、 搬入物検査立会い R04 : 高座清掃施設組合及び最終処分場ダイオ キシン立会い、目久尻用排水路ダイオキシン 立会い、ダイオキシン類等排ガス測定実施 (計4回)		
基本目標 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます					評価	
全4項目のうち、 1項目、○2項目、 1項目となりました。					1	
					2	
					1	
					x 0	
行動内容	3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価		
方針(1) 循環型社会の構築を進める						
31	1	リサイクルプラザの循環 型社会構築に向けた拠点 としての活用と活性化	事業4回以上	事業5回以上	R03 : 2回(新型コロナウイルス感染拡大防止 のため) R04 : 31事業	○

方針(2) 資源の再使用・再生利用を進める					
32	2	ツカエルフェアの開催	年2回以上	R03：1回（新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1回中止） R04：3回	○
33	3	ごみのリサイクル（本庁舎）	80%以上	R03：85% R04：87%	
34	4	木製家具等のRPF化	RPF化可能なもの100%実施	R03：人員が確保できず、一部未実施 R04：人員が確保できず、一部未実施	
環境の将来像 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち （低炭素社会の構築） <small>目標どおり「：100%」、ほぼ目標どおり「：80%～」、一部未実施又は一部未達成「」、未実施又は未達成「×」</small>					総合評価
総合評価は、15項目、2項目、×2項目となりました。					15
					0
					2
					× 2
基本目標 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます					評価
全13項目のうち、11項目、1項目、×1項目となりました。 未達成となったNo.36-2「市役所の電気使用量の削減」については、電気使用量が増加した要因として、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、換気を行いつつ空調を使用したことによる空調効率の低下などが挙げられます。					11
					0
					1
					× 1
行動内容		3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績	評価
方針(2) 省エネを進める					
35	1	電気自動車の導入補助	10件以上	R03：10件 R04：31件	
36	2	市役所の電気使用量の削減 （平成25年度比）	2%削減	(H25：1,427,493kWh) R03：1,461,774kWh(約2.4%増) R04：1,464,035kWh(約2.6%増)	×
			×	×	
37	3	市役所の照明LED化の研究	研究	R03：研究を実施 R04：研究を実施	
38	4	事業所が取り組む省エネ活動の紹介	累計3事業所以上	R03：エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 R04：エコっと21（事業所編）登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 25社	

39	5	市民・事業所でのクリーンエネルギーカーや燃費基準適合車の導入促進（電気自動車導入補助）	導入補助10件以上	R03：9件 R04：31件	
方針(3) 低炭素型都市づくりを進める					
40	6	目久尻川の水辺を活かした親水公園（クールスポット）の整備	目久尻川親水公園の用地買取	H28：詳細設計・検討会を実施。用地については5回交渉を行なったが、地権者の同意を得られず。 H29：地権者と調整（4回） H30：地権者と調整（1回） R01：引き続き交渉に向け準備 R02：引き続き交渉に向け準備 R03：引き続き交渉に向け準備 R04：引き続き交渉に向け準備	
41	7	歩道など歩行者空間の整備	推進	R03：市道325号線を約230m整備 R04：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構造を含む工事を完了、市道17号線）	
42	8	自転車走行ゾーンの検討と整備	推進	H28：市道1号線（工事完了） H29：市道116号線（工事完了） R01：市道20号線（工事完了）	
43	9	透水性舗装の促進	推進	R03：市道325号線を約230m整備 R04：歩道整備（透水性舗装・バリアフリー構造を含む工事を完了、市道17号線）	
方針(4) 蓄エネなどによるエネルギーの有効利用を進める					
44	10	スマートエネルギー設備導入補助	70件以上	R03：93件 R04：87件	
45	11	事業所における省エネ診断などの促進	累計3事業所以上	H28：さがみ野工業団地協同組合対象省エネ講座(11月)(10社) H29：商工会対象省エネ講座(3月)(8社) H30：実績なし R01：広報あやせで周知を実施(EMS) R02：広報あやせで周知を実施(EMS) R03：広報あやせで周知を実施(EMS) R04：広報あやせで周知を実施(EMS)	

46	12	事業所におけるEMS(エネルギーマネジメントシステム)導入の普及・支援	啓発年1回以上		R03：事業所のEMS導入促進を掲載(6/1号広報)、エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載 R04：事業所のEMS導入促進を掲載(6/1号広報)、エコっと21(事業所編)登録事業所活動報告を環境報告書内に掲載	
47	13	事業活動温暖化対策計画届出制度の普及	啓発年1回以上		R03：広報あやせで周知を実施 R04：広報あやせで周知を実施	
基本目標 太陽光発電など再生可能エネルギーの活用を進めます						評価
全6項目のうち、 4項目、 1項目、 ×1項目となりました。						4
						0
						1
						× 1
行動内容		3年度目標 /評価	4年度目標 /評価	取組実績		評価
方針(1) 太陽光など再生可能エネルギーの活用を進める						
48	1	住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成50件以上		R03：58件 R04：55件	
49	2	共同住宅用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上		R03：1件 R04：0件	
50	3	事業者用太陽光発電設備設置補助など、太陽光発電設備の設置・導入の促進・支援	助成1件以上		R03：0件 R04：0件	×
51	4	下水道汚泥減量化・消化ガス発電事業の導入推進	導入推進		R03：事業契約を締結し、詳細設計協議を行った。 R04：下水汚泥減量化・消化ガス発電事業の導入推進に向けて、設計及び建設工事を進め、乾燥汚泥の搬出先の検討を行った。	
52	5	風力など未利用エネルギーに関する情報の収集と提供	情報収集		R03：情報収集を実施 R04：情報収集を実施	

53	6	事業所での未利用エネルギー活用の検討	情報収集	R03：情報収集を実施 R04：情報収集を実施	
環境の将来像 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち（協働社会の構築） <small>目標どおり「：100%」、ほぼ目標どおり「：80%～」、一部未実施又は一部未達成「」、未実施又は未達成「×」</small>					総合評価
総合評価は、 1項目、 1項目となりました。					1 0 1 × 0
基本目標 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます					評価
行動内容は設定しないが、環境教育推進基本計画アクションプラン等により進行管理を実施。					
基本目標 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます					評価
全1項目のうち、 1項目となりました。					1 0 0 × 0
行動内容		3年度目標 / 評価	4年度目標 / 評価	取組実績	評価
方針(3) 環境交流（環境イベントの実施などによる交流）と連携を深め、協働を進める					
55	1	環境学習拠点としての活用	事業実施 年4回以上	R03：16回 R04：25回	
基本目標 事業者自らが環境意識を高め、環境にやさしい事業活動を進めます					評価
全1項目のうち、 1項目となりました。					0 0 1 × 0
行動内容		3年度目標 / 評価	4年度目標 / 評価	取組実績	評価
^					
56	1	あやせエコっと21（事業所編）への参加促進	80事業所以上	R03：49事業所 R04：48事業所	
基本目標 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます					評価
環境教育推進基本計画アクションプランにより進行管理を実施。					

環境指標から目標値を見直しています。

(空ページ)

【資料編】(3)第3次綾瀬市地球温暖化対策実行計画(事務事業編)

資料 削減計画内訳達成度

施設名	2022(令和4)年度二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)								2022年度 排出量	2013年度 基準年度 排出量	2013→2022年度比較	
	A重油	灯油	都市 ガス	ガソ リン	軽油	LP ガス	天然 ガス	電力			増減率 %	増減量 kg-CO ₂
本庁舎(公共資産課)	0	0	234,110	0	0	0	0	682,446	916,556	798,593	15%	117,963
綾北福祉会館(福祉総務課)	0	0	18,777	0	0	0	0	11,838	30,615	23,436	30.6%	7,179
もみの木園(障がい福祉課)	0	0	0	0	0	1,156	0	12,176	13,331	23,085	-42.3%	-9,754
本蓼川墓園(高齢介護課)	0	0	0	0	0	0	0	2,514	2,514	3,300	-23.8%	-786
大上保育園(保育課)	0	0	30,417	0	0	0	0	32,209	62,627	49,406	26.8%	13,220
綾南保育園(保育課)	0	0	28,589	0	0	0	0	29,279	57,867	50,235	15.2%	7,632
旧保健医療センター	0	0	0	0	0	0	0	7,065	7,065	54,013	-86.9%	-46,948
寺尾児童館(子ども未来課)	0	0	0	0	0	2	0	3,878	3,881	3,731	4.0%	150
小園児童館(子ども未来課)	0	0	0	0	0	12	0	4,182	4,194	2,127	97.2%	2,067
ながづつ児童館(子ども未来課)	0	0	4,021	0	0	0	0	7,572	11,593	6,226	86.2%	5,367
リサイクルプラザ	0	0	46,665	0	0	0	0	18,819	65,484	111,152	-41.1%	-45,668
市内公園(みどり公園課、スポーツ課)	0	0	0	162	0	119	0	102,068	102,350	170,269	-39.9%	-67,919
道路照明灯(道路管理課)	0	0	0	0	0	0	0	122,111	122,111	659,201	-81.5%	-537,090
道路補修(道路管理課)	0	0	0	0	0	49	0	0	49	767	-93.6%	-718
浄水管理センター(下水道課)	0	0	0	0	0	105	0	1,375,407	1,375,512	1,537,470	-10.5%	-161,959
上土棚中継ポンプ場(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	64,387	64,387	84,917	-24.2%	-20,530
マンホールポンプ(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	32,820	32,820	38,853	-15.5%	-6,033
流量計2基(下水道課)	0	0	0	0	0	0	0	22	22	25	-13.9%	-4
消防本部(消防総務課)	0	0	5,381	0	0	0	0	108,015	113,396	81,994	38.3%	31,402
消防北分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	1,889	0	27,882	29,771	21,733	37.0%	8,037
消防南分署(消防総務課)	0	0	0	0	0	1,887	0	37,279	39,167	43,116	-9.2%	-3,949
中央分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	1,013	1,013	1,232	-17.8%	-219
綾北分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	1	0	1,024	1,025	1,493	-31.3%	-468
寺尾分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	6	0	1,196	1,202	1,176	2.2%	26
早園分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	0	0	901	901	1,095	-17.7%	-194
綾西分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	1	0	1,390	1,390	1,297	7.2%	93
綾南分団車庫(消防総務課)	0	0	0	0	0	2	0	871	874	1,389	-37.1%	-515
綾瀬小学校	0	100	54,885	57	0	0	0	145,617	200,657	118,574	69.2%	82,084
綾北小学校	0	1,238	0	116	0	10	0	84,685	86,049	62,757	37.1%	23,292
綾西小学校	0	538	75,285	81	0	26	0	93,181	169,111	112,918	49.8%	56,193
早園小学校	0	0	11	46	0	0	0	76,319	76,376	52,935	44.3%	23,442
綾南小学校	0	403	2	65	0	0	0	83,942	84,413	58,637	44.0%	25,776
天台小学校	0	234	22	70	0	0	0	94,790	95,116	57,800	64.6%	37,316
北の台小学校	0	214	0	156	0	17	0	92,120	92,508	152,139	-39.2%	-59,631
落合小学校	0	349	0	86	0	12	0	79,516	79,963	108,848	-26.5%	-28,885
土棚小学校	0	1,255	13	70	0	0	0	91,564	92,901	112,544	-17.5%	-19,642
寺尾小学校	0	149	0	46	0	18	0	94,626	94,840	119,919	-20.9%	-25,079
綾瀬中学校	0	81,035	0	229	0	48	0	96,722	178,034	158,650	12.2%	19,384
綾北中学校	0	842	0	139	0	35	0	143,639	144,655	229,196	-36.9%	-84,541
城山中学校	0	1,275	0	139	0	7	0	114,980	116,401	181,165	-35.7%	-64,764
北の台中学校	0	1,957	0	93	0	89	0	103,157	105,296	178,666	-41.1%	-73,370
春日台中学校	0	2,246	0	186	0	36	0	123,293	125,761	135,470	-7.2%	-9,709
学校給食センター	0	0	306,716	0	0	0	0	127,656	434,372	565,573	-23.2%	-131,200
教育支援教室(教育研究所)	0	0	0	0	0	0	0	2,240	2,240	2,722	-17.7%	-482
文化財収蔵庫(生涯学習課)	0	0	0	0	0	0	0	1,310	1,310	2,732	-52.1%	-1,422
市民スポーツセンター(スポーツ課)	0	0	89,472	0	0	92	0	238,755	328,320	359,020	-8.6%	-30,700
市民文化センター(文・中・図・高福祉む)	0	0	153,346	0	0	0	0	377,502	530,848	509,667	4.2%	21,181
中村地区センター	0	0	0	0	0	20	0	13,217	13,238	18,429	-28.2%	-5,191
早園地区センター	0	0	0	0	0	21	0	5,416	5,437	5,462	-0.4%	-24
吉岡地区センター	0	0	0	0	0	33	0	5,878	5,911	9,946	-40.6%	-4,035
綾南地区センター	0	0	0	0	0	0	0	12,088	12,088	31,940	-62.2%	-19,853
北の台地区センター	0	0	0	0	0	8	0	13,005	13,012	29,621	-56.1%	-16,609
寺尾いずみ会館	0	0	18,380	0	0	0	0	32,492	50,872	73,947	-31.2%	-23,076
南部ふれあい会館	0	0	44,000	0	0	0	0	40,491	84,491	74,040	14.1%	10,450
神崎遺跡資料館	0	0	0	0	0	0	0	5,479	5,479	-	皆増	5,479
綾西高齢者憩いの家	0	0	0	0	0	0	0	3,262	3,262	-	皆増	3,262
保健福祉プラザ	0	0	450	0	0	0	0	73,810	74,260	-	皆増	74,260
公共資産課管理公用車	0	0	0	57,198	9,200	0	0	0	66,398	99,243	-33.1%	-32,844
リサイクルプラザ管理公用車	0	0	0	5,629	108,999	2,834	1,602	0	119,063	131,021	-9.1%	-11,958
道路管理課管理公用車	0	0	0	2,908	9,336	0	0	0	12,245	17,721	-30.9%	-5,476
消防総務課管理公用車	0	0	0	94,621	39,310	0	0	0	133,931	81,394	64.5%	52,537
合計	0	91,834	1,110,542	162,100	166,845	8,537	1,602	5,159,114	6,700,572	7,624,027	-12.1%	-923,454

※・小数点以下は四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない場合があります。

2013(平成25)年度比・2023(令和5)年度増減率(削減目標)	-4.9%
2023(令和5)年度総排出量(目標値)	7,252,729

参考資料

活動項目別・施設別使用量及び二酸化炭素排出量

※ 単位未満四捨五入のため、合計や内訳が一致しない場合があります。

【ガソリン】

二酸化炭素排出係数： 2.32

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課、スポーツ課)	379	70	-309	880	162	-718	-81.5%
小学校10校	322	342	20	748	794	46	6.2%
中学校5校	181	339	158	419	786	367	87.4%
公用車	64,905	69,119	4,214	150,580	160,357	9,777	6.5%
合計	65,788	69,871	4,083	152,627	162,100	9,472	6.2%

【灯油】

二酸化炭素排出係数： 2.49

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
小園児童館 (こども未来課)	40	0	-40	100	0	-100	-100.0%
リサイクルプラザ	243	0	-243	605	0	-605	-100.0%
小学校10校	86,553	1,799	-84,754	215,517	4,480	-211,037	-97.9%
中学校5校	141,814	35,082	-106,732	353,117	87,354	-265,763	-75.3%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	90	0	-90	224	0	-224	-100.0%
地区センター2館	6,321	0	-6,321	15,739	0	-15,739	-100.0%
合計	235,061	36,881	-198,180	585,302	91,834	-493,468	-84.3%

【都市ガス】

二酸化炭素排出係数： 2.23

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
本庁舎 (公共資産課)	116,784	104,982	-11,802	260,428	234,110	-26,318	-10.1%
綾北福祉会館 (福祉総務課)	4,744	8,420	3,676	10,579	18,777	8,197	77.5%
大上保育園 (保育課)	8,916	13,640	4,724	19,883	30,417	10,535	53.0%
綾南保育園 (保育課)	10,293	12,820	2,527	22,953	28,589	5,635	24.6%
ながぐつ児童館 (こども未来課)	285	1,803	1,518	636	4,021	3,385	532.6%
リサイクルプラザ	22,040	20,926	-1,114	49,149	46,665	-2,484	-5.1%
消防本部 (消防総務課)	-	2,413	2,413	-	5,381	5,381	皆増
小学校6校	47,733	58,394	10,661	106,445	130,219	23,774	22.3%
学校給食センター	-	137,541	137,541	-	306,716	306,716	皆増
市民スポーツセンター (スポーツ課)	35,138	40,122	4,984	78,358	89,472	11,114	14.2%
市民文化センター (文・中・図・高含む)	77,290	68,765	-8,525	172,357	153,346	-19,011	-11.0%
寺尾いずみ会館	15,281	8,242	-7,039	34,077	18,380	-15,697	-46.1%
南部ふれあい会館	13,784	19,731	5,947	30,738	44,000	13,262	43.1%
保健福祉プラザ	-	202	202	-	450	450	皆増
合計	352,288	498,001	145,713	785,602	1,110,542	324,940	41.4%

【軽油】

二酸化炭素排出係数：2.58

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
市内公園 (みどり公園課、スポーツ課)	119	0	-119	307	0	-307	-100.0%
公用車	68,511	64,669	-3,843	176,759	166,845	-9,914	-5.6%
合計	68,630	64,669	-3,962	177,066	166,845	-10,221	-5.8%

【A重油】

二酸化炭素排出係数：2.71

施設名	使用量 (L)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
道路補修 (道路管理課)	200	0	-200	542	0	-542	-100.0%
学校給食センター	146,000	0	-146,000	395,660	0	-395,660	-100.0%
合計	146,200	0	-146,200	396,202	0	-396,202	-100.0%

【LPガス】

二酸化炭素排出係数：3.00

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
もみの木園 (障がい福祉課)	417	385	-32	1,251	1,156	-95	-7.6%
旧保健医療センター	56	0	-56	169	0	-169	-100.0%
児童館2館	16	5	-11	49	14	-34	-70.4%
市内公園 (みどり公園課、スポーツ課)	0	40	40	0	119	119	-
道路補修 (道路管理課)	75	16	-59	225	49	-176	-78.3%
浄水管理センター (下水道課)	47	35	-12	141	105	-36	-25.5%
消防本部 (消防総務課)	1,644	0	-1,644	4,932	0	-4,932	-100.0%
消防北分署 (消防総務課)	812	630	-183	2,437	1,889	-548	-22.5%
消防南分署 (消防総務課)	712	629	-83	2,137	1,887	-250	-11.7%
分団6車庫 (消防総務課)	10	3	-7	30	10	-20	-66.7%
小学校6校	54	28	-26	162	84	-78	-48.2%
中学校5校	124	72	-52	371	215	-155	-41.9%
学校給食センター	1,707	0	-1,707	5,121	0	-5,121	-100.0%
適応指導教室 (教育研究所)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	2	0	-2	6	0	-6	-100.0%
市民スポーツセンター (スポーツ課)	46	31	-15	138	92	-45	-32.9%
地区センター5館	99	28	-71	296	83	-213	-72.1%
小計	5,823	1,901	-3,922	17,469	5,703	-11,766	-67.4%
公用車 ※	14	945	931	42	2,834	2,792	6664.4%
合計	5,837	2,846	-2,991	17,511	8,537	-8,974	-51.2%

【天然ガス】

二酸化炭素排出係数：2.22

施設名	使用量 (m ³)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			
	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	2013 (平成25) 年度 (基準年度)	2022 (令和4) 年度	対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
公用車	900	721	-179	1,998	1,602	-396	-19.8%
合計	900	721	-179	1,998	1,602	-396	-19.8%

【電力】

施設名	使用量 (kWh)		
	2013 (平成25)年度 (基準年度)	2022 (令和4)年度	対基準年度 増減量
本庁舎 (公共資産課)	1,427,493	1,493,317	65,824
綾北福祉会館 (福祉総務課)	24,213	25,904	1,691
もみの木園 (障がい福祉課)	41,119	26,643	-14,476
本蓼川墓園 (高齢介護課)	6,214	5,501	-713
大上保育園 (保育課)	55,600	70,480	14,880
綾南保育園 (保育課)	51,378	64,067	12,689
旧保健医療センター	101,402	20,658	-80,744
児童館3館(こども未来課)	21,281	34,207	12,926
リサイクルプラザ	115,626	114,246	-1,380
内訳		(75,218)	
		(39,028)	
市内公園 (みどり公園課、スポーツ課)	318,421	223,343	-95,078
道路照明灯 (道路管理課)	1,241,434	267,201	-974,232
浄水管理センター (下水道課)	2,895,159	3,009,643	114,484
上土棚中継ポンプ場 (下水道課)	159,919	140,890	-19,029
マンホールポンプ (下水道課)	73,170	71,816	-1,354
流量計2基 (下水道課)	48	48	0
消防本部 (消防総務課)	145,127	236,357	91,230
消防北分署 (消防総務課)	36,340	61,011	24,671
消防南分署 (消防総務課)	77,173	81,574	4,401
分団6車庫 (消防総務課)	14,410	13,993	-417
小学校10校	1,499,289	2,296,860	797,571
内訳		(1,119,959)	
		(1,176,901)	
中学校5校	1,251,156	1,433,235	182,079
内訳		(745,051)	
		(688,172)	
		(12)	
学校給食センター	310,342	313,673	3,331
内訳		(157,007)	
		(156,666)	
教育支援教室 (教育研究所)	5,115	4,901	-214
文化財収蔵庫 (生涯学習課)	4,711	2,866	-1,845
市民スポーツセンター (スポーツ課)	528,294	648,791	120,497
市民文化センター (文・中・図・高福含む)	797,425	867,779	70,354
内訳		(866,948)	
		(831)	
地区センター5館	149,460	113,421	-36,039
内訳		(101,355)	
		(12,066)	
寺尾いずみ会館	75,086	74,694	-392
南部ふれあい会館	81,548	93,082	11,534
神崎遺跡資料館	-	11,988	11,988
綾西高齢者憩いの家	-	7,138	7,138
保健福祉プラザ	-	187,406	187,406
内訳		(139,337)	
		(48,069)	
合計	11,507,953	12,016,733	508,781

二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)			二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂)				
2013(平成25)年度(基準年度)			2022(令和4)年度			対基準年度 増減量	対基準年度 増減率
電力事業者	排出係数	排出量	電力事業者	排出係数	排出量		
昭和シェル石油(株)	0.377	538,165			682,446	144,281	26.8%
東京電力(株)	0.531	12,857	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	11,838	-1,019	-7.9%
		21,834			12,176	-9,658	-44.2%
		3,300			2,514	-786	-23.8%
		29,524			32,209	2,686	9.1%
		27,282	29,279	1,997	7.3%		
		53,844	7,065	-46,779	-86.9%		
		11,300	15,633	4,332	38.3%		
東京電力(株)	0.531	61,397			18,819	-42,579	-69%
			ゼロワットパワー(株)	0.025	(1,880)		
			東京電力パワーグリッド(株)	0.434	(16,938)		
東京電力(株)	0.531	169,082	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	102,068	-67,014	-39.6%
		659,201			122,111	-537,090	-81.5%
		1,537,329			1,375,407	-161,923	-10.5%
		84,917			64,387	-20,530	-24.2%
		38,853			32,820	-6,033	-15.5%
		25			22	-4	-13.9%
		77,062			108,015	30,953	40.2%
		19,297			27,882	8,585	44.5%
		40,979			37,279	-3,700	-9.0%
		7,652			6,395	-1,257	-16.4%
(株)エネット	0.423	634,199			936,359	302,160	48%
			(株)V-POWER	0.380	(425,584)		
			東京電力パワーグリッド(株)	0.434	(510,775)		
(株)エネット	0.423	529,239			581,792	52,553	9.9%
			(株)V-POWER	0.380	(283,119)		
			東京電力パワーグリッド(株)	0.434	(298,667)		
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	(5)		
東京電力(株)	0.531	164,792			127,656	-37,136	-23%
			(株)V-POWER	0.380	(59,663)		
			東京電力パワーグリッド(株)	0.434	(67,993)		
東京電力(株)	0.531	2,716	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	2,240	-476	-17.5%
		2,502			1,310	-1,192	-47.6%
		280,524	リエスパワー(株)	0.368	238,755	-41,769	-14.9%
(株)エネット	0.423	337,311			377,502		
			東京ガス(株)	0.435	(377,122)		
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	(380)		
東京電力(株)	0.531	79,363			49,604	-29,760	-37.5%
			東京ガス(株)	0.435	(44,089)		
			東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	(5,514)		
東京電力(株)	0.531	39,871	東京ガス(株)	0.435	32,492	-7,379	-19%
	0.531	43,302		0.435	40,491	-2,811	-6%
-	-	-	東京電力エナジーパートナー(株)	0.457	5,479	5,479	皆増
-	-	-			3,262	3,262	皆増
-	-	-			73,810	73,810	皆増
			(株)V-POWER	0.380	(52,948)		
			東京電力パワーグリッド(株)	0.434	(20,862)		
		5,507,719			5,159,114	-348,605	-6.3%

【 資料編 】

(4) あやせ環境教育推進基本計画（アクションプラン）

※目標どおり「◎:100%」、ほぼ目標どおり「○:80%～」、一部未実施又は一部未達成「△」、未実施又は未達成「×」

(1) 人材の育成と活用:4項目				総合評価	
No.2「地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加」について、市民団体等へ周知を行いました。実施には繋がりませんでした。				◎	3
				○	0
				△	0
				×	1
ア 指導者の育成等	4年度目標	取組実績	評価		
① 学校等教職員の指導力向上					
1 教職員の環境に関する研修会等への参加	5人以上	小学校教頭会で研修(6月)10人参加 自然環境調査研究会を毎月(年12回)開催 延べ33人参加	◎		
② 地域社会における指導者の育成					
2 地域社会における環境教育を担う人材の育成講座等への参加	5人以上	市民団体等へ周知をしたが、実績なし	×		
イ 人材の活用(指導者等の活用)	4年度目標	取組実績	評価		
3 環境に関する知識を有する人材の活用による講座等の実施	4講座以上	4回実施(ソーラークッカーをつくろう!、エコッキング、環境展、エネルギー展)	◎		
4 学校等・地域・事業所等が開催する環境学習会等への講師派遣	4回以上	4回実施(ソーラークッカーをつくろう!、エコッキング、環境展、エネルギー展)	◎		
(2) プログラム等の整備と活用:6項目				総合評価	
6項目全てが「目標どおり」となりました。				◎	6
				○	0
				△	0
				×	0
ア 教材・プログラムの整備	4年度目標	取組実績	評価		
5 発達段階、理解力、活動の場やテーマに応じ学習段階ごとのねらいを明らかにした体系的な環境教育プログラムの整備	補完	環境学習プログラム集を発行(3月)	◎		
6 市民・市民団体の有するノウハウを活かした体験型環境教育プログラムの整備			◎		
7 学校等における環境問題が正しく理解できるように発達段階に応じた教材等の整備	2教材以上	2教材を用いて教育を実施	◎		
イ 教材・プログラムの活用	4年度目標	取組実績	評価		
8 プログラムが有効活用されるよう、環境教育を担う指導者や教職員へのプログラムの情報提供	1回以上	関連団体へ環境プログラム集を配付	◎		

9	環境教育に関する教材、書籍、DVD等の活用	2教材以上	教育研究所発行の「あやぴいとさがそうあやせのしぜん」「綾瀬市環境学習ハンドブック かわせみ」を、小中学校の環境学習の際に活用	◎
10	環境教育プログラム作成に伴う、市民・市民団体・事業所の協力	8団体以上	市民団体2団体、事業所4社、県、財団法人、市 計9団体	◎

(3) 参加の場や機会づくり:37項目

総合評価

33項目が「目標どおり」となりましたが、事業見直しなどから、3項目が「一部未実施又は一部未達成」、1項目が「未実施又は未達成」となりました。

◎	33
○	0
△	3
×	1

ア	学校等における環境教育等の充実	4年度目標	取組実績	評価
	① 幼稚園・保育園での環境教育の充実			
	幼児が、周囲の様々な環境に好奇心や探究心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする力を養うため、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムの幼稚園や保育所への導入を支援します。			
11	幼児が、楽しく、自然に学び、体験できる環境教育プログラムを幼稚園や保育所へ提供	2園以上	環境学習プログラム集を配付	◎
	環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち			
	基本目標Ⅰ-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます			
12	自然(草花)やいきものへの興味と愛着を持つことを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
	基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます			
13	地産地消の給食を導入する	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
	環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち			
	基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります			
14	水の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
	環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち			
	基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします			
15	園児とともに、園内及び園庭など施設周辺の清掃の実施	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
	環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち			
	基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します			
16	分別や資源の大切さを学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎
	環境の将来像Ⅴ 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち			
	基本目標Ⅴ-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます			
17	省エネ行動(節電・節水)を学ぶ	2園以上	「環境保育」の実施(2保育園)	◎

イ 家庭・地域社会における環境教育の充実	4年度目標	取組実績	評価
① 環境に関する学習機会の充実			
地球温暖化の防止、生物多様性の保全、健全な物質循環を課題として捉え、廃棄物などの身近なものから地球規模の環境課題まで広範囲にわたる内容とし、環境課題ごとの関連性についても理解できるような環境教育を展開します。			
知識や理解に実感を持たせ行動に結びつけるため、自然や暮らしの中での体験活動や実践体験を取り入れた、各種の体験型教室等を環境教育の中心に位置付け開催します。			
18 環境展等のイベントの実施	6回以上	美化キャンペーン(5月)、エコっと21(家庭編)実施(6-10月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)	△
19 体験学習等講座(教室)の実施	6回以上	マスク、ソーラークッカー、エコクッキング、宮ヶ瀬ダム見学、リサイクル現場学習会、環境展(わくわくエコスクール)、エネルギー展(ランタン) 延べ7回	◎
② 市民団体との連携・協働と支援			
20 市民団体と連携・協働して各種教室等の実施	4回以上	マスク、ソーラークッカー、エコクッキング、宮ヶ瀬ダム見学、リサイクル現場学習会、環境展(わくわくエコスクール)、エネルギー展(ランタン) 延べ7回	◎
21 団体活動の支援	2団体以上	ふるさと環境市民、ほたる保存会	◎
ウ 事業所が行う環境教育等への支援	4年度目標	取組実績	評価
22 事業所対象の講座等の実施	1回以上	事業見直しによる未実施	×
23 従業員向けの環境教育プログラムの提供	1回	環境学習プログラム集を発行(3月)	◎
24 事業所が実施する環境教育情報の提供	1回	環境学習プログラム集を発行(3月)	◎
※ 家庭・地域社会・事業者共通	4年度目標	取組実績	評価
環境の将来像 I 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち			
基本目標 I-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます			
25 生物多様性に係る情報の提供	2回以上	ホームページ及び広報あやせ、環境展において情報提供	◎
26 自然観察会・学習会など啓発活動の実施	2回以上	エコクラブ(農業体験)、宮ヶ瀬ダム見学、エコクラブ(デイキャンプ・相模川ふれあい科学館)	◎
基本目標 I-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします			
27 市内の自然や緑に関する情報の提供	1回以上	ローズフェスタにおいてパネルを展示(5月)	◎
基本目標 I-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります			
28 河川等水辺の美化活動の実施	50人以上	目久尻川クリーンアップ大作戦、比留川不法投棄パトロール(4回) 計38人	△

基本目標 I-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます				
29	ふれあい農業体験の実施	1回以上	10回	◎
30	地場農産物を活用した料理教室の実施	1回以上	菜速あやせコーン(6月)、夏野菜を使用した料理教室の開催(7月)計2回	◎
31	食育講座等の実施	1回以上	11月に実施	◎
環境の将来像 II 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち				
基本目標 II-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします				
32	低公害車の普及・啓発事業の実施	1回以上	広報あやせ(4/1号)	◎
33	エコドライブの啓発事業の実施	1回以上	環境展(11月)において実施	◎
環境の将来像 III 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち				
基本目標 III-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます				
34	文化財保護啓発事業の実施	1回以上	文化財企画展、史跡ガイドボランティア育成講座、歴史講演会、考古学講座等	◎
基本目標 III-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます				
35	自然災害への意識啓発事業の実施	1回以上	自主防災訓練、研修会、バラ講座等	◎
環境の将来像 IV ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち				
基本目標 IV-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します				
36	リデュース(ごみの発生抑制)の啓発	3回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・5月15～29日：ツカエルフェア245名来場 ・5月15日、22日及び6月5日：上土棚自治会組長研修会 ・6月12日：寺尾南自治会研修会 ・8月4日：親子リサイクル現場見学会7名参加 ・8月6日：夏休み親子環境教室14名参加 ・9月4～18日：ツカエルフェア179名来場 ・おもちゃの病院 計23回開催619名来場 ・10月 3R推進月間に併せリサイクルプラザ1Fにて展示を実施 ・11月19日あやせ環境展へ出展 ・12月4日高座SDGsフェスティバルへ出展 ・2月12～26日：ツカエルフェア512名来場 ・2月16日多量排出事業者へ研修会実施(8社) ・1月～3月雑がみ回収促進袋6枚の全戸配布実施 ・未利用食品の回収・堆肥化を実施 	◎

基本目標IV-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます

37	3Rの普及・啓発事業の実施	4回以上	<ul style="list-style-type: none"> ・5月15～29日：ツカエルフェア245名来場 ・5月15日、22日及び6月5日：上土棚自治会組長研修会 ・6月12日：寺尾南自治会研修会 ・8月4日：親子リサイクル現場見学会7名参加 ・8月6日：夏休み親子環境教室14名参加 ・9月4～18日：ツカエルフェア179名来場 ・おもちゃの病院 計23回開催619名来場 ・10月 3R推進月間に併せリサイクルプラザ1Fにて展示を実施 ・11月19日あやせ環境展へ出展 ・12月4日高座SDGsフェスティバルへ出展 ・2月12～26日：ツカエルフェア512名来場 ・2月16日多量排出事業者へ研修会実施(8社) ・1月～3月雑がみ回収促進袋6枚の全戸配布実施 ・未利用食品の回収・堆肥化を実施 	◎
----	---------------	------	--	---

環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち

基本目標V-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます

38	エネルギーや地球温暖化に関する講座の実施	4回以上	EMS実行員研修(4月)、ソーラークッカー(7月)、環境展：わくわくエコスクール・DVD、エネルギー展：ランタン	◎
39	省エネ・創エネ体験などのエコイベントの実施	2回以上	エコっと21(家庭編)実施(6-10月)、ソーラークッカー(7月)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)	◎
40	エコっと21家庭編の参加促進	100人以上	228人参加	◎

環境の将来像VI 環境を保全・創造するために、市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち

基本目標VI-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます

41	公開講座「ふるさと学習」の実施	1回以上	SDGs講座(11、12月)延べ4回	◎
----	-----------------	------	--------------------	---

基本目標VI-2 地球環境を守るため、市民・市民団体・事業者・市が協働して取り組みます

42	エコっと21事業所編の参加促進 ※	90事業所	48社	△
43	農業理解に役立つ情報提供(広報紙等掲載)	1回以上	広報あやせ及びネットニュースで啓発を実施	◎

基本目標VI-4 環境情報の整備と発信など、環境情報の共有化を進めます				
44	環境関連報告書の発行	1回	環境報告書(令和3年度取組結果)発行(3月)	◎
45	カワセミ新聞の発行	1回	市広報紙等での周知に変更	◎
工	市職員への環境教育の推進	4年度目標	取組実績	評価
46	あやせEMSの運用	不適合0	不適合0	◎
47	研修会の実施	1回以上	EMS実行員研修(4月)	◎

(4) 情報提供と相談体制の整備: 2項目 総合評価

全2項目について、「目標どおり」達成しました。

◎	2
○	0
△	0
×	0

ア	情報の提供	4年度目標	取組実績	評価
48	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関し、広報あやせ、市ホームページや環境展等における情報提供	4回以上	環境月間(6/1号)、夏休み期間事業(7/1号)、環境展(11月)、エネルギー展(11月)、分別に関する啓発(広報あやせ計5回掲載・HP掲載・発送用封筒に印刷)、3R推進月間に合わせリサイクルプラザ1階にて展示を実施(10/1号)、・12月4日高座SDGsフェスティバルの開催に併せて展示を掲示、・おもちゃの病院開催の記事を毎月15日号へ掲載。	◎
イ	相談、問合せへの対応	4年度目標	取組実績	評価
49	市における環境教育等を含む環境を守る取組に関する相談、問合せなどへの適切な対応	適宜	環境教育などのイベントに係る問い合わせなどへの対応を適宜実施	◎

□ 小・中学校における行動計画: アクションプラン(学習指導要領)小学校14、中学校22、計36項目

(3) 参加の場や機会づくり—② 小学校・中学校での環境教育の充実(教育指導課)

各教科、道徳、総合的な学習の時間など、学校の教育活動全体を通して環境教育に取り組むよう指導します。

学習指導要領に基づき、地球温暖化対策(省エネルギー等)や資源循環(リサイクル等)、生物多様性の保全に関わる事項(生物多様性の重要性等)といった地球規模の環境問題と私たちの生活が関わりのあることなどを取り上げるよう指導します。

児童・生徒それぞれの発達の段階に応じた、環境に関する教育を実施します。実施にあたっては、児童・生徒が環境に関する正しい知識を習得するとともに、自ら体験することに重点を置いた指導に努めます。

地域の田畑、公園、緑地等を体験活動の場として、学校に応じて活用するよう指導します。

環境の将来像Ⅰ 豊かな森と水に人々がふれあい、多様な生きものが生息するまち

基本目標Ⅰ-1 緑と水のネットワークをつくり、生物の多様性を守り、育みます

1 2	小学校	身近な自然の観察
		生物間の食う食われるという関係などの生物と環境とのかかわりを学ぶ
1 2 3 4	中学校	自然環境の保全と科学技術の利用の有り方について学ぶ
		自然環境を調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを学ぶ
		自然環境保全の重要性を学ぶ
		地球温暖化、外来種を学ぶ

基本目標Ⅰ-2 水辺の斜面林や森を守り、緑化を進め、自然とのふれあいを豊かにします

3 5	小学校	自然環境を大切にすることを学ぶ
	中学校	生物の育成環境と育成技術、生物育成に関する技術を利用した栽培又は飼育を学ぶ

基本目標Ⅰ-3 カワセミなどが飛来し、ホタルが飛ぶ水に親しめる場をつくります

4 6	小学校	自分と身近な動物や植物などの自然とのかかわりに関心を持ち、自然のすばらしさに気づき、自然を大切にすることを学ぶ
	中学校	自然愛護を学ぶ

基本目標Ⅰ-4 環境にやさしい農業を進め、ふれあい豊かな農地を守り、育みます

5	小学校	綾瀬の農業を学ぶ
---	-----	----------

環境の将来像Ⅱ 生活環境の保全・改善をはかり、みんなが安心して暮らせるまち

基本目標Ⅱ-1 富士山や大山の景観が楽しめる、空気がきれいなまちにします

6 7 8 9	小学校	公害から健康や生活環境を守ることの大切さを学ぶ
		公害の防止など環境の保全を学ぶ
	中学校	放射線の性質と利用を学ぶ
		地域の実態に即して公害と健康の関係を学ぶ

基本目標Ⅱ-2 さまざまな魚が棲み、きれいな水が流れる川を守ります

7	小学校	綾瀬の水環境を学ぶ
---	-----	-----------

環境の将来像Ⅲ 歴史・文化資源を活かし、環境と共生するまち

基本目標Ⅲ-1 大切な財産である歴史・文化資源を守り、伝えます

8 10	小学校	自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域について学ぶ
	中学校	世界の人々の生活や環境の多様性を学ぶ

基本目標Ⅲ-4 オープンスペースの確保など環境面から地域の防災性を高めます

9	小学校	国土の保全のための森林資源の働きや自然災害の防止を学ぶ
---	-----	-----------------------------

基本目標Ⅲ-5 ごみが散乱しないきれいなまちにします

10 11	小学校	自分の生活と身近な環境とのかかわりに気づき、物の使い方などの工夫を学ぶ
	小・中学校	美化標語・美化ポスターへ応募する

環境の将来像Ⅳ ごみの減量化や3Rが進められ、資源が大切に利用されるまち

基本目標Ⅳ-1 生活や事業によるごみを減らし、適正に処理します

12	中学校	環境の保全に十分に配慮した廃棄物処理の必要性を学ぶ
----	-----	---------------------------

基本目標Ⅳ-2 資源を大切にし、再使用や再生利用を進めます



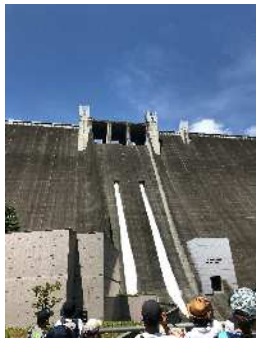
12	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
----	-----	---


13	中学校	自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫と実践を学ぶ
環境の将来像V 地球温暖化防止のために、みんなで省エネや創エネを進めるまち		
基本目標V-1 電気・ガスなどの省エネルギーやエネルギーの有効利用を進めます		
13	小学校	節水や節電などの資源の有効な利用を学ぶ
14	中学校	環境やエネルギーに関する課題を学ぶ
15		地球環境、資源・エネルギーなどの課題解決のための経済的、技術的な協力の大切さを学ぶ
16		日常生活や社会における様々なエネルギー変換の利用を学ぶ
17		人間は、水力、火力、原子力などからエネルギーを得ていること、エネルギーの有効利用の大切さを学ぶ
環境の将来像VI 環境を保全・創造するために市民・市民団体・事業者・市がみんなで協働するまち		
基本目標VI-1 環境教育・環境学習を進め、あやせの環境を育む地域の人づくりを進めます		
14	小学校	飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわりを学ぶ
18	中学校	自然環境が地域の人々の生活や産業と関係をもっていることを学ぶ
19		持続可能な社会の構築のため、地域における環境保全の取組の大切さを学ぶ
20		持続可能な社会の形成の観点から解決すべき課題探求を学ぶ
21		持続可能な社会をつくることの重要性を学ぶ
22		技術の進展が資源やエネルギーの有効利用、自然環境の保全に貢献することを学ぶ

※環境指標から目標値を見直しています。

【 資料編 】

(5) 市民環境団体の活動報告 (5 0 音順)

団体名	
あやせ環境ネットワーク	
団体の目的・令和4年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】</p> <p>第2次綾瀬市環境基本計画の推進を図るため、市と連携して持続可能な社会づくりを目指し、活動しています。</p>	
<p>【令和4年度の活動概要】</p> <p>(団体会員 14 名、個人会員 10 名)</p> <p>運営委員会の開催</p> <p>各プロジェクトチームで啓発事業等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学生や親子向けの講座 (宮ヶ瀬ダム見学、親子リサイクル現場学習会、エコクッキング) ・あやせエコクラブ ・あやせエコっと21 	 

団体名	
おもちゃ病院あやせ	
団体の目的・令和4年度の活動概要	
<ul style="list-style-type: none"> ・おもちゃの修理により SDGs12-5 の目標であるリユースを推進し、ごみの発生量を減らせるのではないかと考えて、おもちゃの修理に励んでおります。 ・おもちゃを通して、ドクターと子供たちのコミュニケーションを図る (地域参画) ・ドクターの技術向上と健康管理 (生涯学習) 	
<p>【令和4年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は定期開院が23回できました。616名のお客様が来院し、324個のおもちゃを修理受付し、299個の修理を完了しました。完治率 92.3%で沢山のお客様に喜んでいただきました。 	

団体名	
あやせ緑普及会	
団体の目的・令和4年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 緑の苗育成と苗配布、C o 2 削減 継続活動 (S D G s を目標に) エコ活動のただか継続中 です。 尚 副産物での (実) お茶づくりをしています。 (基本。参加者で話し合いながら作ります)</p>	 <p style="text-align: right;">配布用苗 C o 2 削減活動</p>
<p>【令和4年度の活動概要】 2 0 1 2 年発足 エコ活動で継続可能な活動で した・・・しかし年齢には勝てません。活動も現 在ではあやせ環境ネットワークのお力を頂き継続 しています。(植物も寒さにはかないません ね。温度・草むしりがあります) 嬉しい力を頂 きました・・・又生活環境プロジェクトチームの力 を頂ける運びに成ってきました事は続けられる見 込みがでてきました。活動は補助金を使わせて頂 いています。エコ C O 2 削減活動への理解をお ねがいます。 因みに ゴーヤ ナタマメ 風船かずら 朝顔 沖縄スズメウリ 菊芋 等の 副産物での茶づくり等 2 0 2 3 年度はコロナで活動停止 (苗配布実施)</p>	 <p style="text-align: right;">配布用苗 各種苗育成中</p> 
	 <p style="text-align: right;">配布用苗 育成中 ゴーヤ苗</p>

団体名

NPO法人ふるさと環境市民

団体の目的・令和4年度の活動概要

【団体の活動目的】

「考えは地球規模で行動は足元から」をモットーにSDGsの啓発、気候変動、マイクロプラスチックや廃棄物、フードロスなどの問題に対して、市民への啓発、楽しくわかりやすい環境学習の提供、地域の川清掃、ふれあいウォークなど、ふるさとを愛する心を育てることを通じて地球環境保全全体の啓発を目的としています。

【令和4年度の活動概要】

1. 「バラ香る綾瀬のまちづくり」

市民提案型協働事業（みどり公園課）

バラの写真コンテスト

1階市民ホール（7月1日～7月17日）

バラの絵手紙教室

7階ギャラリー（7月17日）

バラ講座

6階視聴覚室（2023年1月14日）

2. 綾瀬市きらめき補助金交付事業

「綾瀬子ども探検隊」

7月3日「川の生き物調べ」 清水川

8月28日「森の生き物調べ」

谷戸山公園

2023年3月25日「ムササビ観察」

あいかわ公園（雨で中止）

専門家と市内、森、川をフィールドワークして次回に備えた。



3. 綾瀬市の委託事業

7月26日

「お日様はカもちミニソーラークッカー
をつくろう！」（環境保全課）

残念ながら雨と雷の最悪な天候でソー
ラークッカーでの体験は出来ませんでした

8月6日 夏休み親子環境教室

「発見しよう！江戸時代のSDG2」

（リサイクルプラザ）

11月19日 地球の未来展

「どうなる？どうする？地球の未来」

（環境保全課）

パネル展示とワークショップ他

ソーラークッカーで目玉焼き、ポップコー
ン、ご飯も炊きました。

工作コーナーではペットボトルを使ってラン
タンを作りました。



4. あやせ環境ネットワーク・

綾西ふるさとクラブ

5月14日 & 11月12日

「目久尻川クリーンアップ

花いっぱい大作戦」

川の清掃及び花の植生を行いました。

今回もまだ見えそうなスケートボードか
ら3メートルはありそうな塩ビ管などの
ゴミを拾いました。



7月29日「食べ物から環境を考える」

～エコでグルメなクッキング・ハンバーガーはどこからくるのかな～
ゆで豚を作る時間を利用してハンバーガーの材料を取り上げて環境を考えました。



12月3日「目久尻川ふれあいウォーク」

目久尻川ふるさとネットワークと共催
参加総数は171名。

今回も休息とエネルギー補給を兼ねリンゴやパン・飴などのサービスを用意しました。




5. 他団体との共催事業、視察、研修他

6. 年間美化活動

目久尻川の水質検査、ウォッチング、
不法投棄監視



団体名	
綾瀬城山ほたる保存会	
団体の目的・令和4年度の活動概要	
<p>【団体の活動目的】 市内のホタルの保存活動を通じて、豊かな都市環境を創造するために活動しています。</p>	 <p style="text-align: center;">ホタル生息地整備状況</p>
<p>【令和4年度の活動概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生息地整備 ・ホタルガイド ・ホタル鑑賞会の開催 ・ボランティアの募集とスキルアップ ・行事参加による普及啓発 <p style="text-align: right;">など</p>	

【 資料編 】

(6) エコっと21 (事業所編) 登録事業所活動報告

登録番号 事業所名	取組の感想
第19-0001号 橋本鉄鋼株式会社	社内で出来るエコに対して、従業員全員が考えを深めております。今後もエコに取り組んでまいります。
第19-0003号 ㈱ワイ・ケー電子	新しい社員が入社しましたが、省エネやリサイクルと一緒に社員一人ひとりが確認や関心を持ち、環境負荷低減活動を継続することで社員一丸となって取り組んでいます。
第19-0005号 ㈱横浜製作所	R4年度も廃棄物の排出量、電気の使用量ともに微量ではありましたが昨年度に引き続き減少しました。今年度は家庭の電気料金の高騰など節電に関しては身近に感じ従業員の節電意識もより高まっています。また事務棟のLED照明も取付時から10年以上が経過し交換時期となりました。コストはかかりますが、消費電力も発売当初より削減されています。引き続き電気の使用量の削減など環境負荷の低減を目指し活動してまいります。
第19-0008号 ㈱ラテン大和	前年度に比べると市場回復の兆しがあり、新商品の発売も手伝って生産量もふえました。それに比例して電気、ガス、ガソリンの使用量も増え、エネルギー削減目標は大幅に未達となりました。(新商品の試食会、案内での長距離移動が増) 社内の緑化に関しては、緑地はこれ以上増やせない為(スペースの問題)、ハーブ等植える種類を増やす、社内の観葉植物鉢植えを増やす等の取組みに変更しています。 長年の目標である太陽光パネルの設置は、見積りを取ったものの直ぐに取り掛かれず、時期をみながら進めていきたいと思っております。
第20-0002号 ㈱メイコー	昨年度も引続き新型コロナの影響もあり、生産状況の変動の大きく、電気、ガス等の効率的運用も難しくありましたが、廃棄物に関して、選別精度の向上に注力することで、昨年度に引き続き成果を得ることができました。今度も地道に対応を続け、環境負荷低減に取り組んで参ります。
第20-0003号 ㈱東牧土木	社員全員が常に環境意識をもって取り組むことができました。今年度も環境の向上に努めます。
第20-0004号 ㈱ネエチア	事業所内の照明設備をほぼすべてLEDにし、電気使用量の大幅削減に至ったが、電気料金が高騰しており利用料としては想定していたほどに削減には至らなかった。 コピー用紙など印刷に使用する用紙は再生紙利用だが、カタログ等は再生紙ではない為、今後検討したい。 低公害車の導入をリース時に順次入替を実施している為、今後も継続していきます。
第20-0005号 ㈱青柳商店	出来る事は少ないですが、可能な限り環境配慮を意識して取り組むように努めました。

<p>第20-0007号 株栄和産業</p>	<p>昨年に引き続きコストの低減、リサイクル化、節電を考える取組を行っています。電気使用量を確認するなど、環境負担の低減、環境の向上に努めています。環境意識を高めるため、全従業員で周知・共有し今後も更に環境への取組を積極的に行っていけるようにしたい。</p>
<p>第20-0008号 株タズミ</p>	<p>令和4年度も継続して、可燃ごみの中から燃料化処理を実行し、事業者、周辺自治体より発生する産業廃棄物、一般廃棄物について再生燃料化（SRF製造）を推進致しました。結果、前年度は12,404トン再生固形燃料として販売し、発電所で利用していただくことができました。また、重油換算では8,670kLの化石燃料の削減につながりました。他、電気自動車、燃料電池車の運用、省エネ運搬車両及び、バッテリーフォークの導入など、環境負荷低減につながる施策を実施致しました。コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻など、世情厳しい中でしたが、本年も引続き持続可能な社会実現に向けて、廃棄物の再資源化を推進し、地球温暖化対策を積極的に実行致します。</p>
<p>第21-0001号 株式会社KYOEI</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続きペーパーレスの取り組みを実施。印刷されていない部分に印刷し、再々利用をするなどコピー用紙を徹底的に削減しています。共通のフォルダにPDFを入れ、印刷せず内容を確認するように心がける。 ・引き続き節電を呼びかけ、電気の使用量を削減。 ・発送する際の梱包資材を再利用し、資材の購入を控える。 <p>以上のことに取り組みました。 成果が目に見える方が長く取り組むことができるので、前年よりも良い結果に結びついたのではと感じています。</p>
<p>第22-0001号 株紺野企業</p>	<p>会社全体で一人ひとりが意識して取り組むことができました。今後更なる環境の改善に努めて参ります。</p>
<p>第22-0002号 横浜乳業株</p>	<p>焼却灰は燃え残りや湿って固まってしまった灰を再度ゴミと混ぜて焼却する事で軽量化し、発生量を削減。今期は動植物性残渣の排出量も抑えられた為、資源化率も向上して例年の数値近くまで戻っております。製造量の影響もありますがCIP見直しや節水等の啓蒙活動、代替フロン冷凍機設備へ更新及び設定温度の見直し、ボイラー設備の更新及び運転制御の見直しといった省エネ活動にご協力いただきまして、電気、燃料、水の使用量を削減することに繋がっています。</p>
<p>第24-0003号 株川崎製作所</p>	<p>社員全員で、常に資源の節約意識が保っているハード（設備）の更新等も検討しながら、エコアクション21で行っている活動を維持していく。</p>
<p>第24-0005号 株中電社</p>	<p>資源循環、有効利用を重点課題として取り組み、6年間継続しています。廃棄物の排出抑制とリサイクルを主に、建設工事現場で発生した廃棄物の資源化率向上を推進してきました。デジタル化の普及でコロナ禍以降、ペーパーレス化が更に加速したと感じています。今後も環境負荷の低減に向けた日々の努力を継続してまいります。</p>
<p>第24-0006号 株かなしんオフセット</p>	<p>各部署で環境負荷の低減を行い、前年度と比較して紙の購入枚数と電気の使用量の削減を目標としてました。紙の購入枚数は削減できましたが、電気の使用量は増加となってしまった。</p>

<p>第25-0003号 (株)高座豚手造りハム</p>	<p>従業員が皆で社内の整理、整頓及び清掃を行い、在庫等が過剰にならにより常に気を配ることで環境保全に取り組んだ。(在庫管理、発注管理を強化することで無駄な資材がなくなり廃棄が減となる。)</p>
<p>第25-0004号 (有)パレドモンパル</p>	<p>昨今のエネルギー問題や物価高騰を受けて、よりエコや資源について考えるようになりました。ひとりひとりが小さな事も、心がけて取り組めるよう変わってきたと思います。これからは、今まで以上に気を配ってまいります。</p>
<p>第26-0001号 エムケーチーズ株式会社</p>	<p>今年度はエネルギー費、物価類の高騰もあり、省エネルギー、省資源をいつも以上に意識し、従業員ひとりひとりの環境へのレベルを高める為多くの環境教育を実施しました。今後も継続的に取り組んでいきます。</p>
<p>第26-0004号 大平食品加工(株)</p>	<p>取り組み成果を具体的数値であらわすことは難しいが、1年間各部門一丸となり取り組むことができました。来年はもっと多くの取り組みをできる様努めてまいります。</p>
<p>第26-0006号 明電ケミカル(株)相模事業所</p>	<p>排出排油量の削減は目標達成できたが、LPガス使用量はあと一步のところまで未達に終わってしまった。</p>
<p>第26-0008号 東ソー(株)東京研究センター</p>	<p>従来より、廃棄物の排出抑制・リサイクル・適正処理や、省エネ機器の導入を進めるなど、環境負荷低減に努めております。令和4年度も、照明器具のLED化、省エネルギー型空調設備の導入など、CO₂排出量の削減に努め、エネルギー原単位は約2.8%減少、電気使用量も0.3%減少しましたが、CO₂排出量としては約1.9%増となりました。今後も継続して、環境に配慮した取り組みをより一層努めてまいります。</p>
<p>第26-0009号 日本蛍光化学(株)</p>	<p>従来より、取り組んできた内容でしたが、改めて環境への配慮を確認することができました。今後は新たな目標を追加できるよう努めてまいります。</p>
<p>第26-0010号 東急リネンサプライ(株)相模工場</p>	<p>社員全員が常に環境意識を持って取り組むことができました。コロナ禍においても昨年末からホテルの稼働が急に高くなったままで忙しくなりましたが取り組めました。今後も環境負荷低減、環境の向上に努めてまいります。</p>
<p>第33-0001号 (株)藤井工務店</p>	<p>当社は令和3年9月に登録を行い取り組んでいる。達成基準は低いですが結果は出していると思う。また令和4年5月には「かながわSDGsパートナー」へも登録し、環境対策の強化に取り組んだことにより社員の環境への意識も変わって来たと思う。さらに今年は住宅省エネ支援事業所の登録をし、お客様へ住宅省エネの提案を行い省エネ化に向けた設備の取り組みを推奨し申請している。</p>

綾瀬市環境報告書 2022(令和4)年度取組結果
2024(令和6)年3月発行

発行 神奈川県綾瀬市
編集 市民環境部環境保全課環境保全担当
〒252-1192 綾瀬市早川550番地
電話 0467-70-5619(直通)